

# チベットにおける『法華経』の用法： 観音信仰と一乗思想

槇 殿 伴 子

## 1 はじめに

『法華経』(*Saddharmapuṇḍarikasūtra*, P, 781; D,113) はインドからチベットに翻訳経典として伝来し、九世紀初頭に編纂された『パンタンマ目録』(*dKar chag 'phang thang mā*<sup>1)</sup>) と『デンカルマ目録』(*dKar chag ldan kar mā*<sup>2)</sup>) に記載されている<sup>3)</sup>。本稿は、『法華経』の用例を、チベットの土着文献の中に見出し、その用法について考察することを目的としている。具体的には、*Maṇi bka' 'bum* (『摩尼全集』あるいは『摩尼十万語』、以下『摩尼全集』) とチベット仏教ニマ派に属するゲツェ・マハーパンディタ (*dGe-tse Mahāpaṇḍita*, 1761-1829) の著作を取り上げ、『法華経』が、前者においては、観音信仰を目的とし、後者においては一乗思想を説くことを意図して用いられていることを指摘する。

## 2 『摩尼全集』に説かれる観音信仰

『摩尼全集』の「摩尼」とは、観音菩薩の六字真言（大明陀羅尼あるいは六字大明呪）、すなわち、オーン・マ・ニ・パド (Tib. ペ)・メー・フーン (*om ma ṇi pad me hūṃ*) を指し、『摩尼全集』は観音菩薩とこの六字真言への帰依を説くチベット土着の埋蔵経典（テルマ, *gter ma*) である。作者は古代チベット王ソンツェンガンポ (*Srong btsan sgam po*, d. 650) に帰されており、この典籍の中でソンツェンガンポ王は観音菩薩の化身 (*nirmāṇakāya, sprul sku*) とされているが、実際には、12世紀から13世紀

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（横殿）

に存命した、この經典の三人の埋藏経発掘者（テル・トン、*gter ston*）が作者であると考えられている。<sup>4)</sup>この典籍の一部において、ネパール、チベット、中央アジア、ブータン、中国を舞台として、チベット仏教の前伝期時代における仏教伝来の有様が、観音菩薩の化身としてのソンツェンガンボ王の伝記を通して描かれているため、この典籍はチベットの歴史書としても分類されるが、史実を伝える歴史文献としての「価値はない」と指摘されている。<sup>5)</sup>

一般的に、埋藏經典はニンマ派出自の密教經典であり、インドに起源を持たない偽經として取り扱われ、糾弾的とされるのが慣しであるが、『摩尼全集』は超宗派の人気を博す。このことは、『摩尼全集』の木版印刷がチベット仏教の様々な宗派から出版されていることから示されている。『摩尼全集』のデルゲ（sDe dge）版はサキャ派、デプン（'Bras spungs）版<sup>7)</sup>と北京版<sup>8)</sup>はゲルク（dGe lugs）派、プナカ（sPungs thang）版はカギユ（bKa' brgyud）派<sup>9)</sup>、グンタン（Gung thang）版はボドン（Bo dong）派<sup>10)</sup>によって、それぞれ出版されていることが指摘されている。フランツ・カール・エールハルト（Franz-Karl Ehrhard）の研究によると、現在に伝わる『摩尼全集』は、15世紀から16世紀初頭に刷られたグンタン版の木版印刷を最初期の版とする。<sup>11)</sup>

『摩尼全集』はソンツェンガンボ王時代の歴史と彼の伝記を描く他、様々な密教の教えと、<sup>12)</sup>とくに、マルティ（*dmar khrid*）という観音菩薩の成就法を説く。<sup>13)</sup>さらに、観音菩薩への帰依信仰と阿弥陀如来の極楽浄土への往生を繰り返して説く。観音菩薩への帰依信仰は専ら、冒頭で言及した、観音菩薩の六字心咒、オン・マ・ニ・パド・メー・フームを唱えることによって実践され、観音の心咒の功德が様々に説かれている。

この經典の成立史を、政治的に読み解く見方もある。ドレイフス（Dreyfus 1994）は『摩尼全集』を含める埋藏經典を12世紀から13世紀にかけてのモ

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（楨殿）

ンゴル侵攻への反動とみている。『摩尼全集』がチベット王を観音菩薩の化身とするこの経典をダライ・ラマ政権が政治的に用いたとする見方（Waddell 1894）<sup>14)</sup>もある。以上をまとめると、埋蔵経典でありながらも、この仏典が宗派を超えて受容される理由としては、(1)この典籍に説かれる教義の多様性と、(2)阿弥陀仏の極楽浄土を祈願するチベットの浄土教という性格を持つこと、(3)観音信仰とその化身であるダライ・ラマ政権のチベット統一という少なくとも三点を挙げることができよう。

このような性格の『摩尼全集』の中で、『法華経』がどのように用いられているかを以下に見たい。

### 3 チベットの歴史文献における『法華経』についての記載

『摩尼全集』の以下の記述において、『法華経』は、ソンツェンガンポ王が文字を習わせるために、インドに派遣したトンミ・サンボータ（Thon mi Sambhoṭa, 7世紀頃）がインドからもたらした経典の中に含まれている：

それから、（ソンツェンガンポ）王子の胸中に、「今、雪の王国チベットは仏法に入る必要がある」（という考えが起こった）ので、（王子は）仏法を学ぶためには文字が必要であるが、チベットには文字がないので、聖文殊（菩薩）の化身であるトンミ・サンボータ（Thon mi Sambhoṭa）と呼ばれる、知者の中の最高の者に、（一杯の）ジェ（量の単位）の沙金を授与して、文字と仏法を学ぶために（トンミ・サンボータを）インドに派遣し、（トンミ・サンボータは）婆羅門リチンから文字を学び、108人の学者の面前に赴き、大乘のたくさんの教えを学び、大・中・小の三（種の）般若波羅蜜経典と、『宝雲経』（*Ratnameghasūtra*, T, 658, 659; P, 897; D, 231）と『法華経』と『千手千眼観世音菩薩大悲

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（楨殿）  
心陀羅尼』（T, 1064, 1060; P. 368, D, 690）など、観音（菩薩）の余す  
事無き顕密（経典）と、宝幢如来（*Ratnaketu*）とチャンダマリ（？）  
などの成就法を備えるたくさんの陀羅尼と、それら（を始めとした）  
諸経典とマントラと密教経典をたくさん（チベット）にもたらした。  
それから、王宮に境界を張って、四年間、（ソソツェンガンボ）王に文  
字を教え、上記の仏典を翻訳した。<sup>15)</sup>

上の記述を他の歴史文献における記述と較べてみると、サキャ派のラマ・  
ダムパ・ソナム・ギェルツェン（*Bla ma Dam pa bSod nams rgyal mtshan*,  
1312-1375）の著した『王の系譜を照らす鏡』（*rGyal rabs gsal ba'i me long*）  
の以下の記述の中では、トンミ・サンポータの訳した経典の中に、『法華  
経』は言及されていない：

さらに、その大臣トンミが学者ラリクセンゲの下で文法のすべての論  
書を学んで、五明（*pañcavidyā*）に通じた。『ドゥバ・チェンポイ・ト  
ク』<sup>16)</sup>、『大乘莊嚴宝王経』（*Kāraṇḍavyūhasūtra*, T, 1050; P, 784; D, 116）、  
観音の顕密二十一経典をチベット語に翻訳した。（彼が）『十万頌般若』  
も翻訳したと伝える史伝もある。簡略に言うと、かの大臣トンミは博  
識の功德をたくさん持つ賢者であった。<sup>17)</sup>

さらに、アティシャが発見したとされる『柱の遺言』（*Bka' chems ka khol  
ma*）では『法華経』ではなく『悲華経』（*snying rje chen po'i mdo*）がト  
ンミ・サンポータのもたらした経典の中に含まれている：

それから、そのトンミ・チュン・サンポータが翻訳と文字に熟達して、  
探し求めた大乘の正法はかくの如くである：『正法チンタマニという名

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（横殿）  
の六字陀羅尼<sup>18)</sup>』と、『*Chu klung sna tshogs rol ba'i mdo*』（種々の河川の戯れという名の経典、不詳）と『*Chu klung ba tshai mdo*』（河川の塩の経典、不詳）と『悲華経』（*Karuṇāpūṇḍarika*, T, 157; P, 779; D, 111) をチベットに持参し、(ソンツェンガンポ) 王にそれらの大乘の正法を捧げたので、王はお喜びになった。<sup>19)</sup>

グ・ロツァワ・シヨンヌペル ('Gos Lo tsā ba gZhon nu dpal, 1392-1481) の『青史』(*Deb ther sngon po*) の中に、第三世カルマパ・ランジュンドルジェ (Rang byung rdo rje, 1284-1339) が『法華経』の講伝 (*lung*) を受けたという記述が見出される：

(ランジュンドルジェは) シュリー・ウルギェンパの意図を完成するために、ニェド出身のクンガドンジュプパから『時輪タントラ』(P, 4; D, 362) の教えを詳細に聴聞し、さらにまた、古タントラ派と新タントラ派の(両方の) タントラとその註釈、灌頂と訓示をたくさん授かった。『宝積経』と『法華経』などの経典のたくさんの講伝と高低のアビダルマ(すなわち、アサンガの『大乘阿毘達磨集論』(*Abhidharma-samuccaya*) とヴァスバンドウの『阿毘達磨俱舍論』(*Abhidharmakośa*) などを広大に聴聞した。<sup>20)</sup>

プトン (1290-1364) の『仏教史』では、『法華経』と『悲華経』は「大乘の様々な経典」(*theg pa chen po'i mdo sde sna tshog*) の中に含まれている。<sup>21)</sup>

#### 4 観音菩薩の二十一顯密経典

『摩尼全集』は観音菩薩の以下の顯教と密教の二十一経典を列举し、『法華

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（楨殿）

経』はその一つである。

- (1) 『千手千眼陀羅尼』 (*Phyag stong spyan stong gi gzungs*, 『千手千眼観世音菩薩大悲心陀羅尼』 T, 1064, 1060; P. 368, D, 690)
- (2) 『蓮華心髓経』 (*Padma'i snying po'i mdo*, 『十一面観自在菩薩心密言念誦儀軌経』 T, 1069) ; 『十一面神咒心経』 T, 1071 ; 『仏説十一面観世音神咒経』 T, 1070; P. 373, 374, 2121; D, 693; 694; 899)
- (3) 『十一面観音』 (*gDong bcu gcig pa*. 不詳)
- (4) 『十一面観音経』 (*gdong bcu gcig pa'i mdo*)
- (5) 『不空罽索咒経』 (*Don yod zhags pa'i mdo*. T, 1093 ; P. 366; D. 682)
- (6) 『不空罽索後経』 (*Don yod zhags pa phyi ma'i mdo*. T, 1093)
- (7) 『最勝蓮華経』 (*Padma mchog gi mdo*. 不詳)
- (8) 『自在転輪経』 (*dBang phyug 'khor lo'i mdo*. 不詳)
- (9) 『儀軌タントラ』 (*Chos ga sngags kyi rgyud*. 不詳)
- (10) 『如意輪（観音）経』 (*Yid bzhin gyi nor bu'i mdo*. 不詳)
- (11) 『大慈悲不捨経』 (*sNying rje chen po mi bshol ba'i mdo*. 不詳)
- (12) 『光線経』 (*'Od zer rnam par bkod pa'i mdo*. 不詳)
- (13) 『蓮華冠タントラ』 (*Padma cod pan gyi rgyud*. 不詳)
- (14) 『六字経』 (*Yi ge drug pa'i mdo* ; 『大乘莊嚴宝王経』 と推定)
- (15) 『白蓮華経』 (*Padma dkar po'i mdo* ; 『法華経』 「普門品」)
- (16) 『分陀利経』 (*Puṇḍa rī ka'i mdo* ; 『悲華経』 と推定)
- (17) 『様々な河川の経』 (*Chu klung sna tshogs pa'i mdo*. 不詳)
- (18) 『明戯経』 (*sNang ba rol pa'i mdo*. 不詳)
- (19) 『百八名経』 (*mTshan brgya rtsa rgyad pa'i mdo*; 『聖観自在菩薩一百八名経』 T, 1054, P.381; D. 705)
- (20) 『名前の系譜を完全に示す経』 (*mTshan rabs yongs su bstan pa'i mdo*;

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（楨殿）

『華嚴経』「入法界品」 T, 279, P. 761, D. 44)

(2) 『蓮華頂経』 (*Padma rtse mo sngags kyi mdo*, 不詳)

これらの二十一經典の中で、観音菩薩の心咒の功德が繰り返し説かれる。観音菩薩には、千手千眼観音、十一面観音、如意輪観音、不空罽索観音など、様々な変化身があるが、『摩尼全集』の中では、心咒は統一的に「オーン・マ・ニ・ペ・メー・フーン」を意図する。その功德については、病気、災害、罪の免除、敵に打ち負かされないなど、呪術的な側面と阿弥陀仏の極楽浄土への往生が占めている。『法華経』の場合には、これに付加して、子安観音の側面も現れる。以下に、それぞれの經典の『摩尼全集』中の引用箇所<sup>22)</sup>の和訳を示す。

(1) 『千手千眼観世音菩薩大悲心陀羅尼』

『千手千眼陀羅尼』に説かれていることは（以下のような）、世尊がシュラーヴァスティのマンゴー樹林でたくさんのお供の者たちと一緒に住しており、法を示された後、随伴者たちの中から観世音（Avalokita, *spyan ras gzigs*）菩薩が神通を十方に放って、六道輪廻（にいる者たち）の苦を浄化して安楽に為さしめた。光が三千（世界）をすべて黄金色に変えて、大地も震動した。それから、随伴者たちの中から「総持王」という名の者が席を立て、世尊に次のように請願した。「このような光は誰の力（によって放たれているの）ですか？」と。世尊がお答えになった。「今、私のこれらの随伴者たちの中に観世音菩薩という名前の者がいる。彼の力と神通と威光は不可思議である。過去の無量の劫の彼方から覚醒しており、お名前も「世尊如来阿羅漢正等覚最勝光積王」と呼ばれています。始めに、慈悲を成就した力によって、今尚、菩薩行によって、衆生たちを助け、（彼らを）安楽にし

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（楨殿）

ています。観世音の名を呼べば、無数の悪行が清まり、計り知れない功德を得て、今後死んでも、極楽浄土に再生する」など、たくさん説かれて<sup>23)</sup>いる。

(2) 『蓮華心髓経』

『蓮華心髓経』に次のように説かれている。「観自在 (Avalokiteśvara, sPyan ras gzigs dbang phyug)」が世尊の御前で次のように請願した。「世尊！「蓮華心髓」と呼ばれる、この陀羅尼王によって、今生で十の利益を獲得するでしょう。十とは何かと言えば、(1)一切如来によって保持される；(2)病気に罹らない；(3)財宝と穀物と貴金属と金を得る；(4)一切の敵を征服する；(5)王の家来たち（に）愛される。(6)毒に当たらない。疫病に罹らない。貴金属の毒に当たらない；(7)剣に刺さらない；(8)水害にさらされない；(9)火災に合わない；(10)早死にしない」などの功德がたくさん説かれて<sup>24)</sup>いる。

(3) 『十一面（観音）経』 (*zhal bcu gcig pa'i mdo*)

『十一面（観音）経』に（以下のように説かれている）。「是の如くです。たとえば、いかなる善男子あるいは善女子でも、（彼らが）菩提心を発して、戒律を持して、隠居の場所を清掃し、清潔な衣服を着て、供物を捧げ、一心にマントラを唱えるなら、（私、観音菩薩が、そのような）善男子を一千眼で見て、一千手で洗います。その陀羅尼を唱える人が川あるいは湖あるいは池あるいはル・ミル (*lu mig*) あるいは灌漑用水で洗ったり、その水がその人の体に当たったり、飲むなら、罪が清まり、極楽浄土 (Sukhāvātī, bDe ba can) に生まれるでしょう。風がその人の体あるいは髪あるいは衣服に当たり、その風が他人の体に当たるなら、（その風に当たった人の）罪を清めて私のそばに生



チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（横殿）

まれるでしょう。（私が）見た一切衆生（の声）を聞けば、（彼らの）罪が清まり、菩提を得るでしょう」とたんさんの利益が説かれている。<sup>25)</sup>

(4) 『十一面（観音）経』 (*gdong bcu gcig pa'i mdo*)

『十一面（観音）経』に（次のように）説かれている。「善男子あるいは善女子が真摯に私の名を唱えて念ずれば、一切の障難を離れる。一切の罪と障礙が清まる。一切の恐怖から解き放たれる。一切の魔物から解き放たれ、防御される。一切の良い功德が増長する。一切の凶事が消滅する」などのたくさんの功德を説く。<sup>26)</sup>

(5) 『不空罽索経』 (*don yod zhags pa'i mdo*)

『不空罽索経』に（以下のよう）に説かれている。「不空罽索（Amoghapaśa）のこの心咒を聞いた衆生たちは無数のたくさんの仏へ善根を起こす。高貴な者たちを侮辱し、正法を軽蔑し、（五）無間業を犯し、三宝を捨てるなどの一切の罪が清まる。動物に生まれた衆生の耳穴に（心咒を）唱えれば、（彼ら）さえ悪趣の苦から解き放たれて極楽浄土に生まれる。八日の斎日に聖観自在を現観して唱えれば、罪の種子が腐敗し、間もなく、菩提を得る」などのたくさんの功德が説かれている。<sup>27)</sup>

(6) 『不空罽索後経』 (*don yod zhags pa phyi ma'i mdo*)

『不空罽索後経』に説かれていることは（以下のようである）。「私のこの心咒を一回唱えれば、五無間業も浄化される。毎日唱えれば、一切の罪が清まり、一千仏が積んだ善根を得るだろう。十万（回）唱えれば、弥勒菩薩を見るだろう。二十万（回）唱えれば、聖観自在を見るだろう。三十万（回）唱えれば、阿弥陀仏を見るだろう。四十万

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（横殿）

(回) 唱えれば、十方の一切仏を見るだろう。たくさんの仏国土に行つて、たくさんの仏から法を聴聞するだろう」などのたくさんの利益を説いている。<sup>28)</sup>

(7) 『最勝蓮華経』 (*padma mchog gi mdo*)

『最勝蓮華経』に（以下のように）説かれている。「いかなる善男子あるいは善女子が八日の齋日に住して、七日間（心咒を）唱えれば、いかなる場所に生まれても、そこで慈悲によって衆生の利益を成就するだろう。死期に、僧侶の姿をした聖観世音を見るだろう。安楽に死の時を迎えるだろう。錯誤なく、正知 (*samprajāna, shes bzhin*) を具するようになる。清浄な外観が顕現する。（再生したいと）祈願した処の仏国土に生まれる。善知識と放れない。三時（過去、現在、未来）に唱えれば、五無間業の罪が清まる。障碍が清まる。一切の病氣、悪霊、障害が鎮静する。常に唱えれば、聖観自在が来迎し一切の願いが完遂される」などたくさんの功德が説かれている。<sup>29)</sup>

(8) 『自在転輪経』 (*dbang phyug 'khor lo'i mdo*)

『自在転輪経』に（以下のように）説かれている。「この『自在転輪経』は千仏もお説きになった。私も説示すべきだ。いかなる善男子あるいは善女子でも意楽によって、地域を浄化して、一人で、聖観自在の御身体の前に、できる限りの供物を捧げて、聖観自在を作意して、一心に絶えず唱えるなら、聖観自在の姿が顕現する。一切の成就が与えられる。毎日、千八遍唱えるなら、罪と障碍と病氣と一切の疫病と一切の悪霊と一切の不相応から解き放たれ、無くなる」などのたくさんの功德が説かれている。<sup>30)</sup>

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（楨殿）

(9) 『儀軌タントラ』 (*cho ga sngags kyi rgyud*)

『儀軌タントラ』に（以下のように）説かれている。「いかなる善男子あるいは善女子でも、意楽によって、この陀羅尼を百八遍誦したならば、汝善男子は「私を成就した」と（観世音を）安堵させて、「今生と来世の成就を享受せよ」という言葉を聞くだろう。一切如来の御身体が顕示される。阿弥陀仏も御身体を顕示され、世間の諸仏が天空の城に住しているのも見るだろう。一切勝者が灌頂を授ける。死期に聖観自在が講伝を説示するでしょう。いずれの地に生まれてもそのすべての所で聖観自在から放れないでしょう。蓮華に奇跡的に生まれるでしょう。生誕を覚えているでしょう。仏地を得るでしょう」など、たくさんの功德が説かれている。<sup>31)</sup>

(10) 『如意輪観音経』 (*gid bzhin gyi nor bu'i mdo*)

『如意輪観音経』に（次のように）説かれている。「善男子あるいは善女子が逸脱と気の紛れを払って、独居し、慈悲を修習して（心咒を）唱えるなら、長生きし、たくさんの功德を得る。一切の装飾で飾られ、御手から甘露を雨の滴（のように）滴り落とし、白い御神体をした聖観自在を瞑想し、（心咒を）唱えるなら、七ヶ月で（観自在菩薩を）直に見る。欲しいものは何でも成就する」などのたくさんの功德が説かれている。<sup>32)</sup>

(11) 『大慈悲不捨経』 (*snying rje chen po mi bshol ba'i mdo*)

『大慈悲不捨経』に（以下のように）説かれている。「この陀羅尼を保持する善男子あるいは善女子は如何なる者でも毎日二十一回（陀羅尼）を唱えたら、罪は余す事無く清まって私（観自在菩薩）さえ見て、私の師である阿弥陀仏（Amitāyus, Tshe dpag med）も見るだろう。

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（横殿）

死んで極楽浄土に生まれて聖観自在から放れない」などのたくさんの功德が説かれている。<sup>33)</sup>

(12) 『光線経』 (*'od zer rnam par bkod pa'i mdo*)

『光線経』に（以下のように）説かれている。「いかなる善男子あるいは善女子でも十五日（の斎日）に大供養をして、朝起きて、二十一回か百八回（心咒を）唱えて、聖観自在の（大人の）三十二相と八十種好で荘嚴された黄金のような色の御神体から十万の光線が発しているのを見るだろう。貧窮している時に聖観自在を作意して、百回（心咒を）唱えれば、財産を得る。（心咒を）首にかければ餓鬼に襲われない。自身の守り神とすれば、東方に阿闍如来（Akṣobhya）を見るだろう。南方に宝生如来（Ratnasambhava）と西方に阿弥陀仏（Amitāyus）と北方に「太鼓音を有する者」（すなわち不空成就如来，Amoghasiddhi）と無数の如来を十方に見るだろう」などのたくさんの功德が説かれている。<sup>34)</sup>

(13) 『蓮華冠タントラ』 (*padma cod pan gyi rgyud*)

『蓮華冠タントラ』に（以下のように）説かれている。「聖観自在が次のように言った。「私を作意して、オン・マ・ニ・パド・メー・フーンというこの真言を誦する、いかなる善男子あるいは善女子が、一回誦するか作意して身につければ、五無間業とそれらに近い五つ（の罪業）と一切の罪を清めて、地獄と餓鬼と畜生の転生地と（八）難（*aṣṭāv-akṣnāḥ*）の八転生地を捨てて、身語意に苦しまない。一切の肉食動物と羅刹と阿修羅と、一切の病気と恐怖から解き放たれる。法身の意味を悟得して、色身としての大慈悲を具する者（すなわち、観自在菩薩，Mahākāraṇika）の顔を見るでしょう。そのとき、聖観自在の

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（楨殿）

千手千眼から光線が発して、それらの光線が六道に遍いて、一条一条の光線に如来の一人一人の御身体が来迎して一切衆生を安堵させ成熟させた」などのたくさんの功德が説かれている。<sup>35)</sup>

(14) 『六字経』 (*yi ge drug ma'i mdo*)

『六字経』に（以下のように）説かれている。「いかなる善男子あるいは善女子でも聖母六字智慧の女神を作意して、このマントラを誦すれば一切の病から解き放たれ、一切の悪霊に襲われないだろう。一切の障害が鎮静する。無間業が清まる。寿命が伸び、財産が増える。一切の病と悪霊からこの聖母六字マントラを守護し、帰依し、保持し、実践せよ。寂静、安楽になるだろう」とたくさんの功德が説かれている。<sup>36)</sup>

(15) 『法華経』 (*padma dkar po'i mdo*)

『摩尼全集』では、『法華経』の「普門品」から引用し、無尽意菩薩 (Akṣayamati, Blo gros mi zad pa) が、仏陀に観音菩薩がなぜ観音菩薩と呼ばれるのかの理由を問い、それに仏陀が答える中で、観音菩薩の唱名の功德が様々な例を用いて以下の記述の中で説かれている。

『法華経』に次のように説かれている。「そのとき、世尊はシュレーヴァスティのジェータ林でたくさんのお供の者達と一緒に座して説法した。それらお供の者の中から、無尽意菩薩 (Akṣayamati) が座席から立って次のように請願した：「世尊。この聖観自在はなぜ聖観自在と呼ばれるのですか？」と。世尊が仰った：「この聖観自在は、様々な苦しみを味わっている、億百千の非常<sup>37)</sup>に多くの衆生を御目で遍く見て、彼らすべてを苦しみから解き放ちます。もしも巨大な火の塊に落ちて

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（横殿）

も、聖観自在の名前を保持した者は、火から救助される。もしも川に溺れても、聖観自在を呼んだ者はそこから救助される。百千億<sup>38)</sup>の衆生が海に船で航海し、宝石を携えて、黒風によって羅刹女（*rākṣasi*）の島に連れ去られ、それらの衆生が聖観自在を呼べば、魔女の島から救助されます。敵から殺されそうになったとき聖観自在を呼べば、殺人者の剣がばらばらに砕かれます。もしも、たとえ、一切世界がヤクシャと羅刹と魔物などの悪質な者たちによって満たされても、聖観（自在）の名前を保持すれば、憤怒の心を持つ者によって見られません。善男子よ。鉄と木の枷に填められても、聖観（自在）を呼べば、（枷を）開いて（逃げ）去るでしょう。善男子よ。聖観（自在）の力はこのようです。この三千（世界）が、悪党と泥棒と手に武器を（持つ）敵で満たされ、一人の主長がたくさんの商人と一緒に行って、宝石を取ったが、泥棒たちを見て、畏怖し、避難所がないと知ったとき、その主長が商人たちに「怯えるな！聖観自在に拜め！一切の怯えから解き放たれるだろう」と命令するとき、商人たちが聖観自在に同時に呼び、「（聖観自在）に敬礼いたします」（と言って、）御名前を呼ぶや否や一切の恐怖から解放されるでしょう。善男子よ。貪・瞋・癡の振る舞いをする衆生たちが観自在菩薩の名前を呼んで拜めば、貪・瞋・癡から離れるだろう。善男子よ！聖観自在の力と神通はそのようなものである。幾人かの愛し合う女性と男性が聖観自在の名前を呼んで「息子を授けてください」と言えば、形良く、麗しく、見目良く、大人の相を持ち、たくさんの人の心を魅了し、善根を発達させる者が生まれる。女兒を望んでも、同様である。それゆえに、聖観自在の力はそのようである。さらに「ガンジスの六十二河川のある限りの砂と同じだけの仏に、衣服と布施と寝具と医薬品と品物を以て捧げるなら、功德はたくさんですか？」と無尽意菩薩が尋ねた。（彼の質問に対して）世尊が言った。

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（楨殿）

「たくさんの世尊がいます。たくさんの如来がいます（が）、善男子よ。それでも尚、聖観自在の名を唱えて拝めば、功德はもっと多く増えます」と。そのとき無尽意菩薩が世尊に次の言葉を申しあげた。「世尊！聖観自在菩薩はこの娑婆世界に彷徨しつつ、方便によって衆生たちにどのように法を示しているのですか？」と。世尊が（答えて）仰った。「善男子よ。聖観自在菩薩は虚空と等しく（偏在している）衆生の各々に、彼らに相応しいお姿に化身して法を示す。さらに、仏陀は（衆生を）律するために仏の姿をして法を示す。幾人かには声聞の姿をして法を示す。幾人かには独覚の姿をして法を示す。或る者には梵天の姿をして法を示す。或る者にはインドラ神の姿をして法を示す。或る者にはガンダルバの姿をして法を示す。或る者にはヤクシャの姿をして法を示す。或る者には大自在神の姿をして法を示す。或る者には転輪聖王の姿をして法を示す。或る者にはピシャーチャの姿をして法を示す。或る者には軍師の姿をして法を示す。或る者にはバラモンの姿をして法を示す。或る者には金剛手の姿をして法を示す。或る者には阿闍梨の姿をして法を示す。或る者には善知識の姿をして法を示す。或る者には父母の姿をして法を示す。或る者には兄弟姉妹の姿をして法を示す。或る者には男友達女友達の姿をして法を示す。或る者には、おば、おじ、従兄弟の姿をして法を示す。そのように、どこであっても、律する者の姿をして法を示す。そのように、聖観自在菩薩の功德は不可思議である」と。そのとき、無尽意菩薩が申しあげた。「世尊。聖観自在菩薩に畏敬の念を持ち、法話を問うべきです」と。世尊が（それに答えて）仰った。「善男子よ。その時が来たら、知りなさい！」と。それから、無尽意菩薩は自分の首に（掛かっていた）非常に高価な真珠の首飾りを緩めて、聖観世音に捧げた。無尽意菩薩が申しあげた。「この真珠の首飾りは私にとっては愛すべき物なので、受け取って

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（楨殿）

ください」と。すると、聖観自在が愛情のために受け取って、二つに分けた。一つは世尊釈迦牟尼に捧げた。一つは多宝如来の仏塔に捧げた。「善男子よ。聖観自在が世間でこのような化身を為して衆生の利益を作っています」等、たくさんの利益が（『法華経』に）説かれている。<sup>39)</sup>

(16) 『分陀利経』 (*Puṇḍarīkā'i mdo*)

『分陀利経』に（以下のように）説かれている。「そのとき、世尊は祇樹林 (*Jetavana*) で僧侶の大僧伽と菩薩の大僧伽と神・人・阿修羅など多くの（者たち）と一緒に住していた。そのとき、世尊の眉間からたくさんの光線が発して、その光が世間を遍いて、阿眉地獄の衆生を遍き渡った。一切苦が寂滅した。それから再び、（世尊の）頭に消えて行った。それから、世尊に阿難が次の言葉を言った。「このような光線があるのはどんな因縁があるのですか？」と。（世尊が）言った。「阿難！今、このお供の者の中に聖観自在（菩薩）という名の者がいる。彼の神通と功德は思量することすらできない。彼は今、虚空の端と等しい衆生の各々のそばで律すべき者の姿に化身して、衆生の利益を為している。それらの衆生も物質的な布施と法の布施の二つによって包含されて、苦を翻して安楽にする活動を為している」等のたくさんの功德が説かれている。<sup>40)</sup>

(17) 『種々の河川経』 (*chu klung sna tshogs pa'i mdo*)

『種々の河川経』に説かれていることは（以下のような）。「そのとき、世尊はヴァイシャーリーで、声聞のシャーリプトラ等、五百人の僧侶と弥勒等の仏陀（から成る）たくさんのお供の者によって囲まれて、前を見て、配置された席と一緒に着いた。そのお供の者の中で



チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（楨殿）

普賢という名の（菩薩）が自身の席から立って、次のように請うた。「世尊！聖観音の功德について語るこの経典は過去と未来と現在に生ずる仏世尊たちが説いています。すなわち、『（聖観音は）善男子あるいは善女子（の）避難所である。守護者のない者たちの守護者である。保護者のない者たちの保護者である。一切の罪を尽きさせ、一切の望みを完遂させ、一切の真言を成就させ、慈悲などを備え、一切衆生を一人子の母のように愛する者である』と私は聞きました。そのことは驚愕です」と。世尊が言った。「私が過去生で菩薩として菩提を探していたとき、極楽浄土という名の世界で、阿弥陀という名の世尊阿羅漢仏正等覚が住しておられました。彼のお供の者の中で、「自在」という名のバラモンで第三地を得た者が聖観音の功德について説くこの経典について、十万人のたくさんのバラモンとたくさんの無数の衆生に法話しているのを私は聴いて、彼らのすべてが聖観音の功德を説くこの経典を聴くや否や、（十四）根本墮と一切の罪を清めて、心解脱し、誕生を憶いだすということを私は覚えています。来世で聖観自在（菩薩）のこの功德を善男子あるいは善女子が聞けば、煩惱が尽きる。五無間（罪）などの一切の罪を清める。他のことを考えずに、聖観自在のこの功德を念ずるなら一ヶ月で聖観自在の顔を見るだろう。阿弥陀仏も見ると。無上菩提から退かない。誕生を覚えている。聞いたことを保持するだろう。どこに生まれても正法から放れない。大きな財産を持つだろう。どこにいてもそこで病気悪霊によって害されない」などのたくさんの功德について説く<sup>41)</sup>。

(18) 『明戯経』 (*snang ba rol pa'i mdo*)

『明戯経』に説かれていることは（以下のような）。「その時、世尊がジェータ林でたくさんのお供の者達と一緒に住しており、その時、

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（楨殿）

聖観自在の神通によって、六道の場所で法を示していた。法を示している彼に驚愕して、世尊が顔をほころばせながら、たくさんの光線を発して、（観自在の）頭の冠に消えた。その時、阿難が世尊に次の言葉を言った。「仏世尊！因縁なく微笑まないなら、微笑みの原因は何ですか？条件は何ですか？」と尋ねると、世尊がお答えになった。「善男子よ。今のように、観自在菩薩の神通の化身によって、衆生を成熟させた。幾つかの化身は神の住居に行き、法を示した。『おお、一切の有為法は無常である。一切の有漏は苦である。一切の有為法に頼るのはよくない。これを心に留めよ』と言って、法を示す。幾つかの化身は阿修羅の住居に行き、法を示す。幾つかの化身は人間の居住所に行き、法を示す。最初は、物質的な布施によって（彼らを）集めて、その後で、法によって（彼らを）成熟させた。幾つかの化身は地獄の居住所に行き、法を示し、鉄籠も破壊された。鉄の残骸の山も崩壊した。歩いて渡れない熱灰の河も鎮静した。赤い火塊も鎮まる。銅の塊も壊れて、池が花によって覆われる。幾つかの化身は餓鬼の住居に行き、十本の指から甘露の装飾を滴り落とす。足の十本の指からも神の甘露の水が落ちる。体のすべての毛穴からも甘露の水が滴り落ちて、一切が溶かされる。いくつかの化身は畜生の住居へ行き、彼らの耳の穴に行き、「仏に敬礼します。法に敬礼します。僧伽に敬礼します。聖観自在に拝礼します」と言うと、死後に、それら一切の畜生が神と人間に生まれる」など、このようにたくさんの功德が説かれている。<sup>42)</sup>

(19) 『百八名経』 (*mtshan brgya rtsa brgyad pa'i mdo*)

『百八名経』において説かれていることは（以下のものである）。「世尊がポタラ山の頂上で、甘い香りのする種々の花によって飾られ、黄

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（楨殿）

金のような色の林檎の木（が生え）、種々の宝石が煌めいている地に住して、たくさんのお供によって凝視されて法を示していた。そのとき、世尊が言った。「善男子あるいは善女子が聖観自在を作意して、オーン・マ・ニ・パド・メー・フーンと唱えれば悪趣に生まれえない。阿眉地獄に行かない。誰でも朝に起きて唱えれば、その者の体にハンセンシ病と皮膚病と癌と *bas ldag*（病の一種）と *glon pa*（病の一種？）と呼吸の不整合と一切の病気から解放される。生まれた者は誰でもすべて誕生を覚えている。神の息子と似ている。死の際に極楽浄土に生まれる。どこに生まれようとどこに住もうと聖観自在と放れない。常に唱えれば賢明になる。カッコー（のような）声になる。一切の科学に通達する。賛嘆をここですれば、ガンジス河の六十二河川のあるだけの砂（と同じくらいの数の）仏世尊を供養することになる」などたくさん<sup>43)</sup>の功德が説かれている。

(20) 『名前の系譜を説示する経』 (*mtshan rabs yong su bstan pa'i mdo*)

『説名経』に説かれていることは（以下のような）。「その時、商人の息子、善財（童子）が若者シュリーマティと若い娘シュリーサンヴァバから法を聴聞した後で、彼ら二人は（以下のように）予言した。「善男子！お行きなさい！そして、あなたがここから行ったとき、慈の鳥という名の町があります。そこに家長のネンクという名の者がいる。彼があなたに法を示すでしょう」と予言した。それから、商人の息子、善財がそこに到着し、法を聴聞して（再び）予言を受けた。「善男子！ここから行けば、ポタラカ山があります。そこに聖観自在（菩薩）がいます。彼があなたに菩薩行をどのように学ぶかについて訓示を示すでしょう」と予言が示された。それから、商人の息子、善財はポタラカ山に行った。そして、聖観自在がたくさんのお供の者たちに法を示

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（楨殿）

しているのを見た。それから、敬礼し困憊して一カ所に座した。そのとき、観自在菩薩が商人の息子、善財の御手を取って、「善男子！ここに来なさい！」と仰って、次のように仰った。「私は大慈悲によって、一切生類を統御し、苦から護っています。私の名を念じるなら敵が矢を放っても突き刺さりません。鋭い剣で打たれても、それに突き刺さりません。名声が大きくなり、家系が末永く続きます。食物財宝に困窮せず、財産が増える。私の名を念ずる者は誰でも無敵になる。原生林か森林に行っても、ライオンと虎とヒョウと熊とハイエナと野生の雄牛と毒蛇によって逸らされない。私の名を念ずるだけでそれら（の動物）は逃げるだろう。燃え盛る火炎の中に落ちて、私の名を念ずれば蓮華が満ちる池に変わる。私の名を聞くだけで、水に溺れない。水によって運ばれない。火によって燃やされない。私の名を念ずる者は誰でも、解脱を得る。見るだけで、他者が敬う。敵によって、威光に（？）打ち負かされない。毒に当たらない。私の名を聞いて、念じるなら、神と龍とヤクシャと吸血鬼と羅刹とピシャーチャたちによって捉えられることができない。異端者のマントラによって害されない」など、『名前の系譜を完全に説示する経』に説かれて<sup>44)</sup>いる。

(2) 『蓮華頂タントラ』 (*padma rtse mo sngags kyi mdo*) からの引用はない。

## 5 ニンマ派の典籍に用いられた『法華経』の用法：金剛乗と一乗説

次に取り上げる『法華経』の用例は、チベット仏教ニンマ派のゲツェ・マハーパンディタ（1768-1829）の著作の中に現れる。そこでは、一乗説を金剛乗として解釈し、ニンマ派の九乗 (*theg dgu*) を擁護するための教証として『法華経』が用いられている。サキヤ・パンディタ（1182-1251）

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（横殿）

が彼の『三戒区分』(*sDom gsum rab dbye*)において、ニンマ派のアティ・ヨーガは「乗」(*yāna*)ではないという判断を示したの<sup>45)</sup>に対して、ゲツェ・マハーパンディタは反論する。乗の数は、声聞・独覚・菩薩の三乗説、大乘・小乗の二乗や顕教の因乗(*rgyu'i theg pa*)と密教の果乗(*'bras bu'i theg pa*)の二乗説など、様々に説かれるが、実際には一乗であり、その一乗とは金剛乗に他ならないと、『法華経』を引用しつつ、次の記述の中で説いている。

第二に、(『三戒区分』における解釈の)誤りを払拭するために、(次の二つの観点から説明する。)すなわち、(第一に)一般的には、(ニンマ派の)九乗の数に誤りはない。(第二に)詳細には、アヌ(・ヨーガ)とアティ(・ヨーガ)の二つは乗と密教經典の階梯として正しいと確立される。第一(の点について)、法王(すなわちサキャ・パンディタ)は、三乗を(世間に)よく知られている(立場で解釈)されているが、ニンマ派自身の伝統において、九乗の提示は意味的に論駁され得ない。如来は弟子それぞれの心に適応して、乗のあるだけの階梯を提示して、一時的に、あれやこれやの(階梯)によって、律すべき弟子を導く方便として(それらの階梯を)示しているけれども、究極的には(それらの様々な階梯は)一切諸仏の同一の行く先としての最勝の乗(*theg pa mchog*、すなわち金剛乗)に結びつける休憩所として意図されている。道の乗降場としてのそれら諸々の乗によって、個々の(乗)に合致した、それぞれの果実を獲して終わるが、それでも尚、上へ上へと進むべき道と果実があるからだ。『法華経』(7.106)に「諸仏は三乗を示した。仏の方便である。乗は一つである。二乗あるというのではない。(衆生を)導くために、三乗が示された<sup>46)</sup>」と説かれているからだ。従って、大乘は一(乗)であり、二(乗)あるいは三(乗)

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（楨殿）

説は、一時的な休憩所の意味以外にはなく、真の乗ではないと教示されている。その一つの大乗においてさえ、因（すなわち顕教）と果（すなわち密教）の二つの乗に分かたれるとき、無上の果乗を悟得しないなら、たとえ、声聞、独覚、菩薩、クリヤー、ヨーガの各々の乗によって、輪廻と二極（恒常と断滅）——それぞれの地にそぐわないもの——から出離する各々の果を得ても、（仏地を得るためには）無上の一乗である処のもの（すなわち金剛乗）に始めから入る必要がある。なぜなら悟得すべき究竟の仏の境地が真実の道の究竟としての最勝の乗（つまり金剛乗）から生ずるならば、そこ（つまり金剛乗）に入らずには果の究竟を得ることはできないからだ。<sup>47)</sup>

ゲツェ・マハーパンディタは、さらに、以下の記述の中で、『法華経』を含む、顕密の典籍を教証として用いて説き、上述の一節を若干言い換えて、金剛乗の一乗説論を展開している。

もしも、三乗以外の他の数を否定するなら（間違いである。というのは）、『楞伽経』(10.457)<sup>48)</sup>に、「神の乗と梵天の乗と声聞の（乗）と同様に、如来と独覚の乗を私は説いた」と五乗を説いている（からだ）。『文殊幻網』<sup>49)</sup>に「生類の利益のために奮闘する者は様々な乗の方法を方便として持ち、三乗から出離して、一乗の果に立つ」と説かれている。処のこの一乗を何と同定するのか？ 輪廻から出離する声聞独覚の心に始めて大乘の思考が生じて、一切智を達成することを望んでいると（解釈する）なら間違いである。というのは、「三乗の出離」と言われているからだ。（恒常と断滅の）二極から出離する菩薩が、因の大乗（つまり波羅蜜多乗）そのものの道によって、聖なる仏地を顕現することを望んでいると（解釈）するなら、三乗の後に一乗を選んで説かれ

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（横殿）

たということが無意味になる。ではここで何が説かれているのか？一時的にはたくさんの乗を提示するのも、各々しらかじかの場合と主尊のサイズの観点から、弟子を導く方便として示して、個々の道に相応した果を得て終わるが、さらにその上に一切の仏が進む唯一の道としての最勝の金剛乗が示されるためにあるということが意図されているのである。他（のすべての乗）はまさしくその（金剛乗）に結びつくための単なる足置き場としての道にすぎないものとして示されており、（弟子が）菩提を得るまでに進むべき諸々の道は、はしご段のようなものとして存在する。ナーガールジュナは（『五次第』1.2cd<sup>50</sup>）で「この方便は仏がはしご段のようなものとして示された」と（説かれている）。また、『法華経』では「諸仏が三乗を示されたのは諸仏の方便であり、一乗の他に二（乗）あるというのではない。衆生を導くために三乗を示された」と（説かれている）。『楞伽経』に、「輪廻の生存の道による疲れは休息の意味で、真実ではない<sup>51</sup>」と説明されている通りである。さらに、三乗のみの提示は（数として）遍充しない。というのは、『宝積経』に「迦葉！乗には二つある。小と大である<sup>52</sup>」などと説かれているからだ。それゆえに、この（ニンマ派の）伝統では、声聞（乗）、独覚（乗）、菩薩（乗）、金剛乗との四つを数えるうちの後者（すなわち金剛乗）には、下級の三タントラ（クリヤー、チャリヤー、ヨーガ）と無上（瑜伽）における生起（次第、マハー・ヨーガ）、究竟（次第、アヌ・ヨーガ）、（そして大究竟、アティ・ヨーガすなわちゾクチュエン）の三つに区分して、それを乗の階梯と為すことに不適合なところはわずかにもない。一般的には、仏地に包含される一切諸法には「一乗」の語を用いて良い。また、細別された様々な（地や果）については、各々の乗の語を用いても良い。（結果的には）一切智者（に至る）まで進んでいく道だからだ<sup>49</sup>。

## 6 おわりに

本稿では、チベットの土着文献に現れる『法華経』の用例について資料を上げ、考察した。とくに『摩尼全集』に説かれる観音菩薩の二十一経典において、観音菩薩の功德と阿弥陀仏の極楽浄土へ再生するための祈願が繰り返し説かれているのを見た。付記すると、ゲツェ・マハーパンディタは『古タントラ全集目録』において大中観他空説を教示している。彼の説くところによると、顕教と密教の違いは、「道」における磨き方である。如何に磨くかについては、仏道としての六波羅蜜などの顕教の修行の実践よりも、密教の瞑想修行を、仏地を最速で得る手段とみなす。密教の実践に関しては、ゾクチェンや大印など、個々の実践の名前に捕われず、意図するものは同じであり、それがまた大中観他空の意図するものであると説く。ゲツェ・マハーパンディタの大中観他空説においては、仏陀の教えの究極にあるものに到達する方法に違いはあっても、その目的地の同一性を重視し、金剛乗をその目的地に至るための包括的かつ最有効手段として提示する。

### 参考文献

#### 第一次文献

- bKa' chems ka khol ma*. Lanzhou: Kam shu'i mi rigs dpe skrun khang, 1989.
- dKar chag 'phang thang ma, sGra 'byor bam po gnyis pa*. Prking: Mi rigs dpe sgrun khang, 2003.
- Deb ther sngon po*. 'Gos Lo tsā ba gZhon nu dpal. *Deb ther sngon po*. New Delhi: International Academy of Indian Culture, 1974.
- Lankāvatārasūtra*. 『梵文楞伽經』南條文雄校訂 京都：大谷大学 1923；(Tib.) P, 775; D, 107, S, 245; (Ch.) 入楞伽經 T, vol. 16, n. 671.
- Maṅi bka' 'bum*.

B = 'Bras-spungs 版 (リプリント) Dharamsala: Bod-gzhung-shes-rig-par-khang, 1995；大英図書館所蔵 (蔵書番号199999d.88)



チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（横殿）

- D<sub>1</sub> =Sde dge 版（コンピュータータイピング）。Qing Hai: Mtsho sngon mi rigs par khang, 1991.
- D =Sde dge 版（オリジナル）：The Library of l'École française d'Extrême-Orient, Paris 所蔵
- Gung thang 版：The British Library 所蔵（TIB 18 PT1/PT2; 19999d12）；the National Archives 所蔵（AT 167/4 ; E 2933/5; E 2934/3-2935/1）
- P =Punakha 版。 *Maṇi bka' 'bum: A Collection of Rediscovered Teachings Focussing upon the Tutelary Deity Avalokiteśvara* (Mahākāruṇika). Reproduced from a print from the no longer extant spuñs-thaṅs (Punakha) blocks by Trayangs and Jamyang Samten, vols. E & Waṃ, 1975.
- Peking =北京版（マイクロフィルム）。Staatsbibliothek zu Berrin 所蔵。Preussischer Kulturbesitz Orientabteilung. Tibetischer Blockdruck 364; vollst. May 26, 2004; VOHD 11, 2926.
- U =Ulanbaatar 版（マイクロフィルム）。A microfilm kept at Staatsbibliothek zu Berlin. Preussischer Kulturbesitz, Orientabteilung. Tibetischer Blockdruck 870; vollst. March 17, 2004; Tibetischer Blockdruck 871; vollst. May 26, 2005; VOHD 11, 2925A, 2925B.
- Pañcakrama*. Nāgārjuna, *Pañcakrama*. Ram Shankar Tripathi, ed., *Piṇḍikrama and Pañcakrama*.
- Ācārya Nāgārjuna. Sarnath: Central Institute of Higher Tibetan Studies, 2001.
- rGyal rabs gsal ba'i me long*. bSod nams rgyal mtshan. *rGgyal rabs gsal ba'i me long*. Indo-Tibetan Buddhist Literature Series, vol. 132. Rewalsar, distt. Mandi, H.P.: Zigar Drukpa Kargyud Institute, 1985.
- Ri chos nges don rgya mtsho*. Dol po pa Shes rab rgyal mtshan. *Ri chos nges don rgya mtsho zhes bya ba mthar thug thun mong ma yin pa'i man ngag*." (A), in *Jo nang dpe tshogs*, vol. 1. Beijing: Mi rigs dpe skrun khang, 2007; (B), in *Kun mkhyen dol po pa shes rab rgyal mtshan gyi gsung 'bum*. 'Dzam-tshang: s.n. 1999-?,' vol. 3, fols. 1-275a, pp. 189-737.
- rNying rgyud dkar chag*. Dge rtse Mahāpaṇḍita 'Gyur med tshe dbang mchog grub. *Bde bar gshegs pa'i bstan pa thams cad kyi snying po rig pa 'dzin pa'i sde snod rdo rje theg pa snga 'gyur rgyud 'bum rin po che'i rtogs pa brjod pa lha'i rnga bo che lda bu'i gtam*. In *rNying ma'i rgyud 'bum* (sDe dge), vol. 26. Sde dge: Sde dge par khang chen mo, 200?; *Rñyin ma'i rgyud 'bum* (gTing skyes).. Reproduced from the manuscript preserved at Gting skyes dgon pa byan. Monastery in Tibet, vols, *waṃ* and *srī*. Thimbu: Dingo. Khyentse Rinpoche, 1975; Tarthang Tulku, *rGyud 'bum rin po che'i*

チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（横殿）

*dkar chag lha'i rnga bo che. (dPal snga 'gyur rnying mai lo rgyud dang chos 'byung gi skor)*, produced by the Yeshe De Project under the direction of Tarthang Tulku. 2 vols. Odiyan: Dharma Publishing, 2004.

*Saddharmapuṇḍarikasūtra*. Ed. H. Kern and Bunyiu Nanjiu. *Saddharmapuṇḍarika*. St.-Petersbourg: Imprimerie de l'Académie impériale des sciences, 1912; *Saddharmapuṇḍarika-Sūtram: Romanized and Revised Text of the Bibliotheca Buddhica Publication by consulting A Skt. Ms & Tibetan and Chinese translations*; (Tib.) Q, 781; D, 113; S, 141; (Ch.) T, 262.

*sNga 'gyur la rtsod spong. dGe rtse Mahāpaṇḍita 'Gyur-med-tshe-dbang-mchog-grub. Sdom pa gsum gyi rab tu dbye ba'i bstan bcos chen pos snga 'gyur phyogs la rtsod pa spong ba 'dus ma byas kyi gan mdzod*. In *Dge rtse Mahāpaṇḍita'i gsung 'bum*. Chengdu: Bod yig dpe rnyin myur skyob, 2001. Vol. 6, fols.1-40, pp. 109-188.

T = 大正新修大藏經

*Vajrasrkharatantra. Vajraśekharamahāguhyayogatantra*. Q, 113; D, 480.

*Vinayavastu*. Ed. Raniero Gnoli, *The Gilgit Manuscript of the Saṅghabhedavastu: Being the 17th*

*and Last Section of the Vinaya of the Mūlasarvāstivādi. Part I*. Rome: Istituto Italiano Per Il Medio Ed Estremo Oriente, 1977.

VOHD=Taube, M. (ed.). 1966. *Tibetische Handschriften und Blockdrucke*. Band XI4 of *Verzeichnis der Orientalischen Handschriften in Deutschland: Im Einzelnen mit der Deutschen Morgenländischen Gesellschaft*, edited by von Wolfgang Vogt. Wiesbaden: Franz Steiner Verlag.

## 第二次文献

岩尾一史 「古代チベット帝国の外交と「三国会盟」の成立」『東洋史研究』724, 1-33/748-716頁

西岡祖秀 「『ブトン仏教史』目録部索引Ⅰ」『東京大学文学部文化交流研究施設研究紀要』第4号 1980年 61-91頁

Ehrhard, Franz-Karl. 2000a. "The Transmission of the dMar-Khrid Tshem-bu lugs and the *Ma'i bka' 'bum*." In Christian Chojnacki, Jens-Uwe Hartmann, and Volker M. Tschannerl (eds.), *Vividharatnakaraṇḍaka: Festgabe für Adelheid Mette* (Indica et Tibetica 37), pp. 199-215. Swisttal-Odendorf: Indica et Tibetica Verlag.

———. 2000b. *Early Buddhist Block Prints From Mang-yul Gung-thang*. Lumbini: Lumbini International Research Institute.

———. 2013. "The Royal Print of the *Ma'i bka' 'bum*: Its Catalogue and Colophon" In

- Franz-Karl Ehrhard and Petra Maurer (eds.), *Nepalica-Tibetica: Festgabe for Christoph Cüppers*. Band 1, pp. 143-172. Andiastr: International Institute for Tibetan and Buddhist Studies GmbH.
- Gyatso, Janet. 1981. *A Literary Transmission of the Traditions of Thang-stong rgyal-po: A Study of Visionary Buddhism in Tibet*. Ph.D. Dissertation from University of California, Berkeley. UMI: 8211946.
- Hopkins, Jeffrey. 2006. *Mountain Doctrine: Tibet's Fundamental Treatise on Other-Emptiness and the Buddha-Matrix*. Ithaca, New York; Boulder, Colorado: Snow Lion Publications.
- Kapstein, Matthew. 1992. "Remarks on the *Maṇi bka' 'bum* and the Cult of Avalokiteśvara in Tibet." In Steven D. Goodman & Ronald M. Davidson (eds.), *Tibetan Buddhism: Reason and Revelation*. Albany, NY: SUNY Press.
- Kapstein, Matthew. 2000. *The Tibetan Assimilation of Buddhism: Conversion, Contestation, and Memory*. Oxford: Oxford University Press.
- Karmay, Samten. "King Tsa/Dza and Vajrayāna." In Michel Strickmann (ed.), *Tantric and Taoist Studies In Honour of R.A. Stein*. vol. 1, pp. 192-211. *Mélanges chinois et bouddhiques* XX.
- Lalou, Marcell. 1953. "Les Textes Bouddhiques au Temps du Roi Khri-sroñ-lde-bcan." *Journal Asiatique* CCXLI, pp. 313-353.
- Macdonald, Ariane. 1969. *Annuaire 1968-1969*. École pratique des Hautes Études IV<sup>e</sup> Section. Sciences Historiques et Philologiques.
- Makidono, Tomoko. 2014. "Vestiges of Religious Interaction Embedded in the *Maṇi bka' 'bum*: The Origins and the Development of the Cult of the Bodhisattva Avalokiteśvara." *Indian International Journal of Buddhist Studies* 15, pp. 135-198.
- Rhoton Jared Douglas. 2002. *A Clear Differentiation of the Three Codes: Essential Distinctions among the Individual Liberation, Great Vehicle, and Tantric Systems: The sDom gsum rab dbye and Six letters. Sa skya paṇḍita kunga gyaltsheṅ*. Translated by Jared Douglas Rhoton. Edited by Victoria R. M. Scott. Albany: SUNI.
- Roerich, George, N. 1976. *The Blue Annales. Part I & II*. Second edition. Delhi, et al.: Motilal Banarsidass.
- Sørensen, Per, K. 1994. *Tibetan Buddhist Historiography, The Mirror Illuminating the Royal Genealogies: Annotated Translations of the XIVth Century Tibetan Chronicle: rGyal-rabs gsal-bai me-long*. Wiesbaden: Harrassowitz Verlag.
- Trizin Tsering Rinpoche. 2007. *Maṇi Kabum*, vols. I and II. n. p. www.manikabum.com.

- Waddell, Laurence Austine. 1894. "The Indian Buddhist Cult of Avalokita and his Consort Tārā 'the Saviouress' Illustrated from the Remains in Magadha." *Journal of the Royal Asiatic Society*, pp. 51-89.
- Wayman, Alex. 1985. *Canting of the Names of Mañjuśrī: The Mañjuśrī-nāma-saṃgīti. Sanskrit and Tibetan Texts*. Boston: Shambhala Publications, Inc.
- White, Pamela Gayle (trans.). 2010. *The Outer Sadhana of the Extensive Chenrezi practice called the King's Tradition of the Great Compassionate One from Dharma King Songtsen Gampo's Mani Kaboum (Ma ṅi bka' 'bum las thugs chen rgyal po'i lugs phyi sgrub kyi cho ga bzhugs so)*. Kathmandu: Marpa Kagyu Dharma Preservation Center.

注

- 1) Q. 5851. *dKar chag 'phang thang ma* (p. 6.17): 'phags pa dam pa'i chos pad ma skar po | bam po bcu gsum |.
- 2) Lalou 1953: 321.
- 3) 両目録の編纂年並びに両目録についての諸研究については岩尾 (2014: 724-725) を参照した。
- 4) ツェリン・ティズイン・リンポチエ (Trizin Tsering Rinpoche 2007) によって、英語に完訳されている。  
Kapstein 2000: 149.
- 5) Vostrikov 1994: 55; Kapstein 1992: 79; 2000: 144.
- 6) Macdonald 1969: 529.
- 7) Ariane Macdonald (1969: 529) は『摩尼全集』が永らくゲルク派出自の埋蔵經典であると見なされていたと記している；デブン版の伝承についてはエールハルトが詳細に記している (Ehrhard 2014: 151, n. 16)。
- 8) Makidono 2013: 155-156.
- 9) Ehrhard 2013: 151, n. 17.
- 10) Ehrhard 2013: 150.
- 11) Ehrhard 2000a: 206; 2000b: 14-15; 2013: 149, n. 13.
- 12) マシュウ・カプスタイン (Kapstein 1992: 92) は『摩尼全集』に説かれるニンマ派とカダム派の教義について指摘している。
- 13) Gyatso 1981: 103-104; Ehrhard 2000a; White 2010.
- 14) 『摩尼全集』についてのダライ・ラマの記述についてはマシュウ・カプスタイン (Kapstein 1992: 80-81) を参照。
- 15) *Maṅi bka' 'bum* (D, e, fol. 228a6-b4): *de nas rgyal bu'i thugs la da ni bod kha ba can gyi rgyal khams chos la gzud dgos pas | chos slob pa la yi ge dgos pa la | bod la yi ge med pas | 'phags pa 'jams dpal gyi sprul pa thon mi sambho ṭa zhes byas ba shes*

*rab can gyi mchog tu gyur pa la | gser phye bre gang bskur nas rgya gar du yi ge dang chos slob tu btang nas | bram ze li byin la yi ge bslabs | pañdi ta brgya risa brgyad kyi spyān sngar phyin nas | theg pa chen po'i chos mang po la bslabs te | shes rab kyi pha rol tu phyin pa rgyas 'bring bsduḡ gsum dang | mdo sde dkon mchog sprin dang | paḡma dkar po dang | phyag stong spyān stong gi gzungs la sogs pa | spyān ras gzigs kyi mdo rgyud ma lus pa dang | rin po che tog dang | tsanda ma li la sogs pa | sgrub thabs can gyi gzungs mang po dang | de dag la sogs pa mdo sde dang | gzungs sngags dang | gsang sngags kyi rgyud sde mang po yang spyān drangs so || de nas pho brang du mtshams bcad nas lo bzhir rgyal po la yi ge bslabs shing | chos gong ma de rnams bsgyur ro ||*

- 16) 筆者は同経を Mahāsaṃnipā ta ratnaketuḡhāraṇi (p. 806; D, 138) と推定する。
- 17) bSod nams rgyal mtshan, *rGyal rabs gsal ba'i me long* (fol. 79a4-b2, pp. 165.4-166.2): *gzhan yang blon po mthon mi des | pañḡi ti lha rigs seng ge la | sgra bstan bcos thams cad slabs nas | rig pa'i gnas lnga la mkhas par gyur te | 'dus pa rin po che'i rtoḡ | mdo za ma rtoḡ | spyān ras gzigs kyi mdo rgyud nyi shu rsta cig rnams bod du sgyur | lo rgyus cig na | shes rab kyi pha rol tu phyin pa stong phrag brgya pa yang sgyur zer ba'ang 'dug | mdor na blon po mthon mi de | slabs shes kyi yon tan du ma la mkhas par gyur to ||*; Sørensen 1994: 173.
- 18) 同経は、『大乘莊嚴宝王経』を指すと筆者は推定する。
- 19) bKa' chems ka khol ma (p. 107.10-16): *de nas thon mi chung sam bho ḡa des lo tḡtsha dang yi ge mkhas par bslabs nas theg pa chen po'i dam chos btsal ba ni 'di lta ste | dam chos tsin dha ma ṇi zhes yi ge drug ma'i mdo gzung dang | chu klung sna tshogs rol ba'i mdo dang | chu klung ba tsha'i mdo dang | snying rje paḡma dkar po dang bcas te bod du spyān drang yongs te | rgyal po la theg pa chen po'i dam chos de rnams phul bas rgyal po thugs dgyes so ||*
- 20) Zhon nu dpal, *Deb ther sngon po* (nya, fol. 39a4-5, p. 427.4-5): *dpal u rgyan pa'i dgongs pa rdzogs pa'i phyir | snye mdo ba kun dga' don grub pa la dus 'khor gyi bshad ba zhib tu gsan zhing | gzhan yang rgyud dang 'grel pa gsar rnying dbang dang gdams pa mang du gsan | dkon mchog rtseḡs pa dang dam chos paḡ dkar sogs mdo'i lung mang po dang | mngon pa gong 'og sogs rgya cher gsan ||*; Roerich 1976: 490.
- 21) 西岡 (1980: 71) 参照。
- 22) 『摩尼全集』はティズイン・ツェリン・リンポチエによって英語に完訳されている。ティズイン・ツェリン・リンポチエによる英訳 (Trizin Tsering Rinpoche 2007: 155-173) も参照されたい。
- 23) *Maṇi bka' 'bum* (D, e, fol. 58a6-b6): *phyag stong spyān stong gi gzungs nas gzungs pa ni | bcom ldan 'das mnyan yod kyi a mra'i tshal na 'khor mang po dang thabs cig tu*

*bzhugs te | chos ston pa las 'khor rnams kyi nang nas | byang chub sems dpa' sphyan ras gzigs kyis rdzu 'phrul phyogs bcur btang nas | rigs drug gi sdug bsngal sbyangs nas bde ba la bkod | 'od zer gyis stong gsum thams cad gser gyi kha dog tu bsgyur sa yang rab tu gyos so || de nas 'khor rnams kyi nang nas gzungs 'dzin gyi rgyal po bya ba stan las langs te | bcom ldan 'das la 'di skad ces gsol to || 'od 'di lta bu su'i mthu lags | bcom ldan 'das kyis bka' stsal pa | da lta nga'i 'khor 'di rnams kyi nang na | byang chub sems dpa' sphyan ras gzigs bya ba yod de | de'i mthu stobs dang rdzu 'phrul dang | gzi brjod ni bsam gyis mi khyab bo || 'das pa'i bskal pa grangs med pa'i pha rol nas sangs rgyas zin pa yin te | mtshan yang bcom ldan 'das de bzhin gshegs pa dgra bcom pa yang dag par rdzogs pa'i sangs rgyas 'od zer kun nas 'phags pa dpal brtsegs rgyal po zhes bya'o || thog mar byams pa dang snying rje bsgrubs pa'i mthus | da dung byang chub sems dpa' spyod pas sems can rnams phan pa dang bde ba la 'god pa yin no || sphyan ras gzigs kyi mtshan nas brjod na yang sdig pa grangs med pa byang zhing bsod nams dpag tu med pa thob ste | 'di nas shi 'phos na yang 'jig rten gyi khams bde ba can du skye bar 'gyur ro zhes pa la sogs pa mang du gsungs so ||; Cf. T, 20, 1060, p. 106a28-b18.*

- 24) *Mañi bka' 'bum* (D, e, fol. 58b6-59a3): *padma'i snying po'i mdo las 'di skad ces gsungs te | 'phags pa sphyan ras gzigs dbang phyug gis bcom ldan 'das kyi sphyan sngar 'dug ste 'di skad ces gsol to || bcom ldan 'das padma'i snying po zhes bya ba'i gzungs kyi rgyal po 'dis | tshe 'di la phan yon bcu thob par 'gyur ro || bcu gang zhe na | de bzhin gshegs pa thams cad kyis yongs su gzung bar 'gyur ro || bro nad ma mchis par 'gyur ro || nor dang | 'bru dang | dbyig dang | gser rnyed par 'gyur ro || dgra thams cad thub par 'gyur ro || rgyal po'i tshogs byams par 'gyur ro || dug gis mi tshugs | rims kyis mi tshugs | dbyig dug gis mi tshugs | mtshon gyis mi tshugs | chab kyis mi tshugs | zhugs kyis mi tshugs | dus ma yin par 'chi bar mi 'gyur ro zhes bya ba la sogs pa'i yon tan mang du gsungs so ||; Cf. T, 20, 1071, p. 152b18-23; T, 20, 1069, p. 140a22-29; T, 20, 1070, p. 149b14-21.*

- 25) *Mañi bka' 'bum* (D, e, fol. 59a3-6): *zhal bcu gcig pa'i mdo las | 'di lta ste dper na rigs kyi bu'am rigs kyi bu mo gang la la zhig gis | byang chub tu sems bskyed de tshul khrims dang ldan par byas nas | gnas dben pa cig tu khrus byas te gos gtsung ma gyon nas | mchod pas mchod de sems rtse gcig gis bzlas brjod byas na gang rigs kyi bu de la mig stong gis lta zhing | lag pa stong gis byab par bgyi'o || gang gzungs de 'chang ba'i mi des chu klung ngam | mtsho'am | rdzing bu'am | lu mig gam | yur ba'i chu de la khrus byas na | chu de gang gi lus la phog gam 'thungs na | sdig pa byang nas bde ba can du skye bar 'gyur | rlung gis de'i lus sam skra'am gos la phog pa'i rlung des gzhan gyi lus la phog na sgrib pa dag byang nas nga'i drung du skye bar 'gyur | sems can mthong ngo cog gi rna bar thos na sdig pa byang nas byang*

*chub thob par 'gyur ro zhes sogs phan yon mang po gsungs so* || 原典不詳。

- 26) *Mañi bka' 'bum* (D, e, fol. 59a6-b1): *gdong bcu gcig pa'i mdo las gsungs pa ni rigs kyi bu'am rigs kyi bu mos bsam pa thag pa nas | nga'i ming nas brjod cing dran par gyur na gnod pa thams cad dang bral bar 'gyur | sdig pa thams cad dang sgrub pa thams cad byang bar 'gyur | 'jigs pa thams cad las thar bar 'gyur | gdon bgegs thams cad las thar zhing skyob par 'gyur | legs pa'i yon tan thams cad 'phel par 'gyur | bkra mi shis pa thams cad nub par 'gyur ro zhes pa la sogs pa'i yon tan mang po gsungs so* || 原典不詳。
- 27) *Mañi bka' 'bum* (D, e, fol. 59b1-4): *don yod zhags pa'i mdo las gsungs pa ni | don yod zhags pa'i snying po 'di thos pa'i sems can de dag ni | sangs rgyas bye ba khrag khrig 'bum phrag du ma la dge ba'i rtsa ba bskyed pa lags so || gang gis 'phags pa la skur pa 'debs pa dang | dam pa'i chos la smod pa dang | mtshams med pa'i las byed pa dang | dkon mchog gsum spangs pa dang | de la sogs pa'i sdig pa thams cad rnam par dag par 'gyur ro || tha na dud 'gror skyes pa'i sems can gyi rna ba'i bu gar bzlas brjod byas na | ngan song gi sdug bsngal las thar nas bde ba can gyi 'jig rten du skye bar 'gyur ro || tshes brgyad kyi nyin mo smyung bar gnas pa byas te | 'phags pa spyen ras gzigs dbang phyug mngon sum du dmigs nas bzlas brjod byas na | sdig pa'i sa bon rul nas ring por mi thogs par byang chub thob par 'gyur ro zhes sogs phan yon mang po gsungs so* || 部分的な平行句は T, 1092 (p. 232b16-17)、T, 1094 (402c14-15) に見出される。
- 28) *Mañi bka' 'bum* (D, e, fols. 59b4-60a1): *don yod zhags pa phyi ma'i mdo las gsungs pa ni | bdag gi snying po 'di lan cig brjod na mtshams med pa lnga yang byang bar 'gyur ro || nyi ma re re bzlas brjod byas na sdig pa thams cad byang bar 'gyur zhing | sangs rgyas stong gis bsags pa'i dge ba'i rtsa ba thob par 'gyur ro || 'bum phrag gcig bzlas brjod byas na sangs rgyas byams pa mthong bar 'gyur ro || 'bum phrag gnyis bzlas brjod byas na 'phags pa spyen ras gzigs dbang phyug mthong bar 'gyur ro || 'bum phrag gsum bzlas brjod byas na sangs rgyas 'od dpag med mthong bar 'gyur ro || 'bum phrag bzhi bzlas brjod byas na phyogs bcu'i sangs rgyas thams cad mthong bar 'gyur ro || sangs rgyas kyi zhing mang por 'gro zhing sangs rgyas mang po la chos nyan par 'gyur ro zhes sogs phan yon mang po gsungs so* || T, 1093 (p. 401a24-25) に、一日三回、一回につき108回マントラを唱えれば、五逆重罪と諸々の業と障害を減することができるという句が見出される。
- 29) *Mañi bka' 'bum* (D, e, fol. 60a1-5): *padma mchog gi mdo las gsungs pa ni | rigs kyi bu'am rigs kyi bu mo gang la la zhig gis tshes brgyad la smyung bar gnas pa byas nas | zhag bdun du bzlas brjod byas na gang dang gang du skyes pa der byams snying rje'i sgo nas sems can gyi don 'grub par 'gyur ro || 'chi ba'i tshe 'phags pa spyen ras gzigs dbang phyug dge slong gi gzugs kyi zhal mthong bar 'gyur ro || bde bar*

*tshē'i dus byed par 'gyur || khrul pa med par shes bzhin dang ldan par 'gyur | snang ba dag pa 'char bar 'gyur ro || sangs rgyas kyi zhing gang dang gang du skye bar smon lam btob pa de dang der skye bar 'gyur ro || dge ba'i bshes gnyen dang 'bral bar mi 'gyur | dus gsum du bzlas brjod byas na mtshams med pa lnga'i sdig pa byang bar 'gyur | sgrib pa dag par 'gyur | nad gdon dang 'tshē ba thams cad zhi bar 'gyur | rtag tu bzlas brjod byas na 'phags pa sphyan ras gzigs dbang phyug byon nas bsam pa thams cad yong su rdzogs par byed par 'gyur ro | zhes pa la sogs pa'i yon tan mang po gsungs so || 原典不詳。*

- 30) *Mañi bka' 'bum* (D, e, fol. 60a5-b2): *dbang phyug 'khor lo'i mdo las gsungs pa ni | dbang phyug 'khor lo'i mdo 'di sangs rgyas stong gis kyang gsungs | bdag gis kyang bshad par bya ste | rigs kyi bu'am rigs kyi bu mo gang yang | bsam pa thag pa zhig gis sa phyogs gtsang zhing dben par | 'phags pa sphyan ras gzigs dbang phyug gi sku gzugs kyi mdun du ci 'byor ba'i mchod pas mchod de | 'phags pa sphyan ras gzigs dbang phyug yid la byas la | sems rtse gcig gi rgyun ma chad par bzlas brjod byas na | 'phags pa sphyan ras gzigs dbang phyug gi zhal mngon sum du ston par 'gyur | dngos grub thams cad sbyin par 'gyur | nyin re bzhin stong rtsa brgyad bzlas brjod byas na sdig pa dang | sgrib pa dang | nad dang | rims thams cad dang | gdon thams cad dang | mi mthun pa'i phyogs thams cad las thar bar byed cing med par byed de | de la sogs pa'i yon tan mang po gsungs so || 原典不詳。T, 1080-1083, P, 692, 523; D, 692, 898に相当か？不空胃素を主尊とする、T, 1092 (p. 228b23-28)にも平行句が見出される。*
- 31) *Mañi bka' 'bum* (D, e, fol. 60b2-5): *cho ga sngags kyi rgyud nas gsungs pa ni | rigs kyi bu'am rigs kyi bu mo gang yang bsam pa thag pa'i sgo nas gzungs 'di lan brgya rtsa brgyad bzlas brjod byas na | rigs kyi bu khyod kyis nga grub zin yod do zhes dbugs 'byin par mdzad nas | 'di dang phyi ma'i dngos grub longs shig ces pa'i gsung thos par 'gyur ro || de bzhin gshegs pa thams cad kyi sku ston par mdzad do || sangs rgyas 'od dpag med kyang sku ston par mdzad cing | 'jig rten gyi khams kyi sangs rgyas mang po gzhal med khang na bzhugs pa yang mthong bar 'gyur ro || rgyal ba thams cad kyis dbang bskur bar 'gyur ro || 'chi ba'i tshē 'phags pa sphyan ras gzigs dbang phyug gis lung ston par 'gyur ro || gang dang gang du skyes pa thams cad du 'phags pa sphyan ras gzigs dbang phyug dang mi 'bral bar 'gyur ro || me tog padma las rdzus te skye bar 'gyur | skye ba dran par 'gyur | sangs rgyas kyi go 'phang thob par 'gyur | de la sogs pa yon tan mang po gsungs so || 原典不詳。*
- 32) *Mañi bka' 'bum* (D, e, fol. 60b5-60b5): *yid bzhin gyi nor bu'i mdo nas gsungs pa ni | rigs kyi bu'am rigs kyi bu mo gang gis 'du 'dzi dang g.yeng ba spangs te | dben pa'i gnas su byams pa dang snying rje bsgoms nas bzlas brjod byas na | tshē ring zhing yon tan mang po thob bo || 'phags pa sphyan ras gzigs dbang phyug rgyan thams cad*



*kyis brgyan pa | phyag nas bdud rts'i char rgyun 'dzag pa sku mdog dkar po 'od zer can du bsgoms nas bzlas brjod byas na | zla ba bdun gyis zhal mthong ngo || ci 'dod pa'i dngos grub thob par 'gyur ro zhes pa la sogs pa'i yon tan mang po gsungs so ||* 原典不詳。

- 33) *Mañi bka' 'bum* (D, e, fol. 60b5-61a3): *snying rje chen po mi bshol ba'i mdo las gsungs pa ni | gang gzungs 'di 'dzin pa'i rigs kyi bu'am | rigs kyi bu mo gang la la zhig gis nyi ma re re la lan nyi shu rtsa gcig bzlas brjod byas na | sdig pa ma lus pa byang nas nga yang mthong la | nga'i mkhan po tshe dpag med kyang mthong bar 'gyur ro || tshe 'phos nas bde ba can du skye zhing 'phags pa spyen ras gzhiigs dbang phyug dang mi 'bral bar 'gyur ro zhes pa la sogs pa'i yon tan mang po gsungs so ||* 原典不詳。同名の *Āryakarunānūvilāṃnāmadhāraṇī* ('Phags pa snying rjes mi bshol ba'i gzungs, P. 533, D. 908) ではない。
- 34) *Mañi bka' 'bum* (D, e, fol. 61a3-6): *'od zer rnam par bkod pa'i mdo nas gsungs pa ni | rigs kyi bu'am rigs kyi bu mo gang la la zhig gis tshes bco lnga la mchod pa chen po byas nas | nang par langs nas lan nyi shu rtsa gcig gam brgya rtsa brgyad bzlas brjod byas na 'phags pa spyen ras gzigs dbang phyug gi lus gser gyi kha dog lta bu mtshan dang dpe byad bzang po brgyad cus legs par brgyan pa | sku las 'od zer brgya stong mnga' ba mthong bar 'gyur ro || phongs par gyur pa'i tshe 'phags pa spyen ras gzigs dbang phyug yid la bgyis nas | lan brgya bzlas brjod byas na longs spyod dang ldan par 'gyur ro || mgul du btags na yi dvags kyis mi tshugs so || yi dam du bgyis na shar phyogs su de bzhin gshegs pa mi 'khrugs pa mthong bar 'gyur ro || lho phyogs su rin chen tog dang | nub phyogs su tshe dpag med dang || byang phyogs su rnga sgra dang | de la sogs pa phyogs bcu'i de bzhin gshegs pa grangs med pa mthong bar 'gyur ro || de la sogs pa yon tan mang po gsungs so ||* 原典不詳。
- 35) *Mañi bka' 'bum* (D, e, fol. 61a6-b4): *padma cod pan gyi rgyud nas gsungs pa ni | 'phags pa spyen ras gzigs dbang phyug gis 'di skad ces smras so || nga yid la byas nas | om ma ñi pad me hūṃ zhes pa'i rig sngags 'di zlo ba'i rigs kyi bu'am rigs kyi bu mo gang yin pa des | lan cig bzlas brjod byed dam yid la byas nas lus la bcangs na mtshams med pa lnga dang | de dang nye ba lnga dang | sdig pa thams cad byang nas | sems can dmyal ba dang | yi dvags dang | dud 'gro'i skye gnas dang | mi khom pa'i gnas brgyad spangs shing lus ngag yid gsum sdug bsngal bar mi 'gyur ro || gcan gzan dang | srin po dang | mi ma yin pa thams cad dang | nad dang 'jigs pa thams cad las thar bar 'gyur ro || chos kyi sku'i don rtogs nas gzugs kyi sku thugs rje chen po'i zhal mthong bar 'gyur ro || de nas 'phags pa spyen ras gzigs dbang phyug gyi phyag stong spyen stong las 'od zer rab tu bkye ste | 'od zer de dag gis 'gro ba rigs drug la khyab par byas te | 'od zer re re la de bzhin gshegs pa'i sku re re byon nas sems can thams cad dbugs phyung nas yongs su smin par byas so zhes pa la sogs pa*

*phan yon mang po gsungs so* || 平行句は *Padmamukūṭatantra* (P. 375, *rgyud, tsa*, fol. 23a3-6; D. 701, *rgyud, tsa*, fols. 158b4-7) に見出せる。P, fol. 23a6, D, *tsa*, 158b7に *om ma ni padme hūm* が説かれている。

- 36) *Maṇi bka' 'bum* (D, e, fol. 61b4-6): *yi ge drug ma'i mdo las gsungs pa ni | rigs kyi bu'am rigs kyi bu mo gang la las 'phags ma yi ge drug ma shes rab kyi lha mo yid la byas nas | rigs sngags 'di bzlas brjod byas na | nad thams cad las thar ba dang | gdon thams cad kyis mi tshugs par 'gyur | bgegs thams cad zhi bar 'gyur | mtshams med pa'i sdiḡ pa byang bar 'gyur | tshe ring zhiḡ longs spyod 'phel bar 'gyur | nad dang gdon thams cad las 'phags ma yi ge drug ma'i rig sngags 'di bsrung ba dang | yongs su bskyab pa dang | yongs su bzung ba dang | yongs su bskyang ba dang | zhi ba dang | bde legs su 'gyur ro zhes sogs phan yon mang po gsungs so* ||
- 37) T, 9, 263, P. 128c25
- 38) T, 9, 263, P. 129a3
- 39) *Maṇi bka' 'bum* (D, e, fol. 61b6-63b5): *padma dkar po'i mdo gsungs pa ni | de nas bcom ldan 'das mnyan yod rdze ta'i tshal na 'khor mang po dang thabs cig tu bzhugs nas chos ston to || 'khor de'i nang nas byang chub sems dpa' blo gros mi zad pa stan las lang te 'di skad ces gsol to || bcom ldan 'das 'phags pa spyān ras gzigs dbang phyug 'di la ci'i phyir 'phags pa spyān ras gzigs dbang phyug ces bgyi | bcom ldan 'das skad ces bka' tshal to || 'phags pa spyān ras gzigs dbang phyug 'di sems can bye ba khrag khrig brgya stong phrag ci snyed cig sdug bsngal sna tshogs myong bar 'gyur ba de dag la spyān gyis khyab par gzigs nas | de dag thams cad sdug bsngal las thar bar mdzad do || gal te gang dag me'i phung po chen por lhung na | 'phags pa spyān ras gzigs dbang phyug gi ming 'dzin pa de me las thar bar 'gyur | gal te chu klung gis khyer na 'phags pa spyān ras gzigs la bos na de las thar bar 'gyur | sems can bye ba khrag khrig rgya mtshor gzings su zhugs te 'gro na | nor dang bcas te rlung nag pos srin mo'i gling du 'phangs par gyur na | sems can de dag gis 'phags pa spyān ras gzigs la bos na | srin mo'i gling las thar bar 'gyur | gang dag pha rol gyis gsod par byed pa la | 'phags pa spyān ras gzigs dbang phyug la bos na | gshed ma de dag gi mtshon cha dum bur chag par 'gyur | gal te 'jig rten kham thams cad gnod sbyin dang srin po dang | 'dre srin ma rungs pas gang bar gyur kyang | 'phags pa spyān ras gzigs kyi ming 'dzin pa de la sdang ba'i sems kyis lta bar mi nus so || rigs kyi bu gang zhiḡ lcags sgrog dang shing sgrog tu bcug kyang | 'phags pa spyān ras gzigs la bos na de dag bye nas 'gro bar 'gyur ro || rigs kyi bu 'phags pa spyān ras gzigs kyi mthu ni de 'dra'o || stong gsum 'di g.yon can dang | chom rkun dang | dgra lag na mtshon cha thogs pas gang bar gyur te | ded dpon cig gis tshong pa mang po dang 'grogs nas phyin te nor dang bcas kyang | chom rkun de dag mthong nas 'jigs shing skrag ste skyabs med par shes pa la | ded dpon de tshong pa rnam*

*la ma 'jigs shig || 'phags pa spyan ras gzigs dbang phyug la phyag 'tshal cig || 'jigs pa thams cad las thar bar 'gyur ro zhes bsgos la tshong pa de rnams kyis 'phags pa spyan ras gzigs dbang phyug la dus gcig tu boste phyag 'tshal lo zhes mtshan nas brjod ma thag tu 'jigs pa thams cad las thar bar 'gyur ro || rigs kyi bu gang sems can 'dod chags dang | zhe sdang dang | gti mug la spyod pa de dag gis | byang chub sems dpa' 'phags pa spyan ras gzigs kyi ming nas bos te phyag byas na | 'dod chags dang | zhe sdang dang | gti mug dang bral bar 'gyur ro || rigs kyi bu 'phags pa spyan ras gzigs dbang phyug gi mthu dang rdzu 'phrul ni de 'dra'o || gang zhig bud med bu pho 'dod pa la las | 'phags pa spyan ras gzigs dbang phyug ming nas bos te bu stsol zhes brjod na | gzugs bzang ba mdzes pa lta na sdug pa mtshan dang ldan pa | skye bo mang po'i yid du 'ong ba dge ba'i rtsa ba bskyed pa 'byung ngo || gang zhig bu mo 'dod na yang de dang 'dra'o || des na byang chub sems dpa' 'phags pa spyan ras gzigs dbang phyug gi mthu ni de 'dra'o || yang sangs rgyas gangga'i klung drug cu rtsa gnyis kyi bye ma snyed la | na bza' dang | bsod snyoms dang | gzims cha dang | snyun gyi gsos sman dang | yo byad rnams kyis mchod na bsod nams mang ngam | byang chub sems dpa' blo gros mi zad pas gsol pa | bcom ldan 'das mang lags so || bde bar gshegs pa mang lags so || bcom ldan 'das kyis bka' stsal pa | rigs kyi bu de bas kyang 'phags pa spyan ras gzigs dbang phyug gi ming nas brjod nas phyag 'tshal na | bsod nams mang du 'phel lo || de nas byang chub sems dpa' blo gros mi zad pas | bcom ldan 'das la 'di skad ces gsol to || bcom ldan 'das 'phags pa spyan ras gzigs dbang phyug 'jig rten gyi kham mi 'mjed 'dir rnam par rgyu zhing | thabs mkhas pa'i sgo nas sems can rnams la ji ltar chos ston | de skad ces gsol pa dang | bcom ldan 'das kyis bka' stsal pa | rigs kyi bu byang chub sems dpa' spyan ras gzigs dbang phyug ni nam mkha'i mtha' dang mnyam pa'i sems can re re la | de dang 'tsham pa' i sku gzugs re rer spul nas chos ston to || de yang sangs rgyas kyis 'dul ba la sangs rgyas kyi gzugs kyis chos ston no || la la la nyan thos kyi gzugs kyis chos ston | la la la rang sangs rgyas kyi gzugs kyis chos ston | kha cig la ni tshang pa'i gzugs kyis chos ston | kha cig la ni brgya byin gyi gzugs kyis chos ston | kha cig la ni dri za'i gzugs kyis chos ston | kha cig la ni gnod sbyin gyi gzugs kyis chos ston | kha cig la ni dbang phyug chen po'i gzugs kyis chos ston | kha cig la ni 'khor los sgyur ba'i rgyal po'i gzugs kyis chos ston || kha cig la ni sha za'i gzugs chos ston | kha cig la ni dmag dpon gyi gzugs kyis chos ston | kha cig la ni bram ze'i gzugs kyis chos ston | kha cig la ni lag na rdo rje'i gzugs kyis chos ston | kha cig la ni slob dpon gyi gzugs kyis chos ston | kha cig la ni dge ba'i bshes gnyen gyi gzugs kyis chos ston | kha cig la ni pha dang ma'i gzugs kyis chos ston | kha cig la ni ming po dang sring mo'i gzugs kyis chos ston | kha cig la ni grogs po dang grogs mo'i gzugs kyis chos ston | kha cig la ni ne ne mo dang zhang po dang tsha bo'i gzugs kyis chos ston | de ltar*

*gang la gang 'dul ba'i gzugs kyis chos ston no || de ltar byang chub sems dpa' sphyan ras gzigs dbang phyug gi yon tan ni bsam gyis mi khyab bo || de nas bcom ldan 'das la byang chub sems dpa' blo gros mi zad pas gsol pa | bcom ldan 'das byang chub sems dpa' sphyan ras gzigs la bsnyen bkur la chos kyi gtam dri bar bya'o || bcom ldan 'das kyis bka' stsal pa | rigs kyi bu de'i dus la bab na shes par gyis shig || de nas byang chub sems dpa' blo gros mi zad pas | rang gi mgul na mu tig gi do shal rin brgya stong ri ba cig bkrol nas | 'phags pa sphyan ras gzigs dbang phyug la phul lo || blo gros mi zad pas gsol pa | mu tig gi do shal 'di bdag la snying brtse ba'i phyir longs shig ces smras so || de nas 'phags pa sphyan ras gzigs kyis snying brtse ba'i phyir blangs te cha gnyis su bgos so || gcig bcom ldan 'das shaakya thub pa la phul lo || gcig de bzhin gshegs pa rin chen mang gi mchod rten la phul lo || rigs kyi bu 'phags pa sphyan ras gzigs dbang phyug 'jig rten gyi khams na 'di lta bu'i rnam par sprul pa mdzad nas sems can gyi don byed do zhes sogs phan yon mang po gsungs so || P. fols. 187b2-290b8; T, 9, 263, p. 128c22-129c18.*

- 40) *Mañi bka' 'bum* (fol. D, e, fol. 63b5-64a3): *punḍarī ka'i mdo las gsungs pa ni | de nas bcom ldan 'das rgyal bu rgyal byed kyi tshal na dge slong gi dge 'dun chen po dang | byang chub sems dpa'i dge 'dun chen po dang | lha dang mi dang lha ma yin la sogs pa mang po dang thabs cig tu bzhugs so || de'i tshe bcom ldan 'das kyi smin mtshams nas 'od zer mang po bkye nas | 'od des 'jig rten gyi khams thams cad khyab par byas nas | mnar med pa'i sems can smyal ba yan chad la khyab par byas so || sdug bsngal thams cad zhi bar gyur to || de nas slar dbu'i gtsug tor du nub par gyur to || de nas bcom ldan 'das la kun dga' bos 'di skad ces gsol to || 'od 'di lta bu gda' ba ci'i rgyu ci'i rkyen lags | de skad ces gsol pa dang | bcom ldan 'das kyis bka' stsal pa | kun dga' bo de da lta 'khor 'di'i nang na | 'phags pa sphyan ras gzigs dbang phyug bya ba yod de | de'i rdzu 'phrul dang yon tan ni bskal par brjod kyang mi lang ngo || de da lta nam mkha'i mtha' dang mnyam pa'i sems can re re'i drung na gang la gang 'dul de la des 'dul du sprul nas sems can gyi don byed do || sems can de dag kyang zang zin gi sbyin pa dang | chos kyi sbyin pa gnyis kyis bsdus nas | sdug bsngal las bzlog nas bde ba la 'god pa'i phrin las byed do zhes sogs yon tan mang po gsungs so ||* 原典には *Karuṇāpūṇḍarīka* を予想させるが、筆者は当該箇所を平行句を見出せていない。ただし、大正大蔵經に、世尊の舌から出た光が地獄などにいる者を照らし、彼らが「清涼樂」を得たという記述が見出せる（T, 157, pp. 174a25-28）
- 41) *Mañi bka' 'bum* (D, e, fol. 64a3-6): *chu klung sna tshogs pa'i mdo las gsungs pa ni | de nas bcom ldan 'das grong khyer yangs pa can na | nyan thos shaa ri'i bu la sogs pa dge slong lnga brgya dang | byams pa la sogs pa sangs rgyas kyi 'khor mang pos bskor nas mdun du bltas te | gdan bshams pa la thabs cig tu bzhugs so || 'khor de'i nang na byang chub sems dpa' kun tu bzang po zhes bya ba rang gi stan las lang te*

'di skad ces gsol to || bcom ldan 'das 'phags pa sphyan ras gzigs kyi yon tan yongs su  
 brjod pa'i mdo 'di 'das pa dang | ma 'ongs pa dang | da ltar byung ba'i sangs rgyas  
 bcom ldan 'das rnams kyis gsungs te | rigs kyi bu'am rigs kyi bu mo skyabs su 'gyur  
 | mgon ma mchis pa rnams kyi mgon du 'gyur | dpung gnyen ma mchis pa rnams  
 kyi dpung gnyen du 'gyur ro || sdiḡ pa thams cad zad par bgyid pa dang | bsam pa  
 thams cad yongs su rdzogs par bgyid pa dang | rig sngags thams cad 'grub par bgyid  
 pa dang | byams pa dang snying rje la sogs pa dang ldan pa | sems can thams cad la  
 bu gcig pa'i ma ltar snying brtse bar mdzad pa bdag gis thos te | de ni ngo mtshar  
 shin du che'o || bcom ldan 'das kyis bka' stsal pa | nga sngon byang chub sems dpar  
 gyur te byang chub yongs su tshol ba na | 'jig rten gyi khams bde ba can zhes bya ba  
 na | de bzhin gshegs pa dgra bcom pa yang dga par rdzogs pa'i sangs rgyas 'od dpag  
 med ces bya ba bzhugs so || de nyid kyi 'khor na bram ze dbang phyug ces bya ba sa  
 gsum thob pa cig 'dug pa des | 'phags pa sphyan ras gzigs kyi yon tan yongs su brjod  
 pa'i mdo 'di bram ze brgya stong mang po dang | sems can bye ba khrag khrig mang  
 po la chos ston pa ngas thos te | de dag thams cad kyis sphyan ras gzigs kyi yon tan  
 yongs su brjod pa'i mdo 'di thos ma thag tu | rtsa ba'i ltung ba dang sdiḡ pa thams  
 cad byang ba dang | sems nam par grol ba dang skye ba dran par 'gyur ba ngas  
 dran no || phyi ma'i dus na 'phags pa sphyan ras gzigs dbang phyug gi yon tan 'di rigs  
 kyi bu'am rigs kyi bu mo gang gi rna lam du thos na | nyon mongs pa zad par  
 'gyur ro || mtshams med pa lnga la sogs pa'i sdiḡ pa thams cad byang bar 'gyur ro ||  
 gzhan du mi sems par 'phags pa sphyan ras gzigs dbang phyug gi yon tan 'di dran par  
 byas na zla ba gcig gis 'phags sphyan ras gzigs dbang phyug gi zhal mthong bar 'gyur  
 ro || sangs rgyas 'od dpag med kyang mthong ngo || bla na med pa'i byang chub las  
 phyir mi ldog par 'gyur ro || skye ba dran par 'gyur ro || thos pa 'dzin par 'gyur ro ||  
 gang du skyes kyang dam pa'i chos dang mi 'bral bar 'gyur ro || longs spyod chen po  
 dang ldan par 'gyur ro || gang na 'dug pa de dang der nad gdon gyis mi tshugs par  
 'gyur ro zhes bya ba la sogs pa'i phan yon mang du gsungs so ||

- 42) *Maṅi bka' 'bum* (D, e, fol. 64b6-65b1): *sngan ba rol pa'i mdo las gsungs pa ni | de nas  
 bcom ldan 'das rgyal bu rgyal byed kyi tshal na 'khor mang po dang thabs cig tu  
 bzhugs te | de'i tshes 'phags pa sphyan ras gzigs dbang phyug gi rdzu 'phrul gyis rigs  
 drug gi gnas su chos ston to || chos bstan pa de la ngo mtshar du gyur nas | bcom  
 ldan 'das kyis zhal 'dzum pa mdzad pa dang | 'od zer mang po 'phros te dbu'i gtsug  
 tu nub par gyur to || de nas kun dga' bos bcom ldan 'das la 'di skad ces gsol to ||  
 sangs rgyas bcom ldan 'das rgyu ma mchis rkyen ma mchis par 'dzum pa mi mdzad  
 na | 'dzum pa mdzad pa'i rgyu gang lags rkyen gang lags | de skad ces gsol pa dang |  
 bcom ldan 'das kyis bka' stsal pa | rigs kyi bu da ltar byang chub sems dpa' 'phags pa  
 sphyan ras gzigs dbang phyug gi rdzu 'phrul gyi nam par 'phrul ba mdzad nas | sems*

*can yongs su smin par mdzad do || sprul pa la la ni lha'i gnas su song nas chos ston te | khye ma 'dus byas thams cad ni mi rtag pa | zag bcas thams cad ni sdug bsngal ba | 'dus byas thams cad la yid brtan du rung ba ma yin no || 'di la yid su chags par byed ces chos ston to || sprul pa la la ni lha ma yin gyi gnas su song nas chos ston to || sprul pa la la ni mi'i gnas su song nas chos ston to || dang po zang zing gi sbyin pas yongs su bsdus nas | de nas chos kyis yongs su smin par byas so || sprul pa la la ni dmyal ba'i gnas su song nas chos ston te | lcags kyi khang sgrom 'bar ba yang zhid par gyur | lcags kyi shal ma ri yang nyil par gyur | thal tshan gyi chu bo rab med kyang zhi'o || me dmar po'i 'obs kyang bsil bar gyur to || zangs rgya ma khal tshad kyang chag nas rdzang bu me tog gis khebs par gyur to || sprul pa la la ni yi dvags kyi gnas su song nas phyag gi sor mo bcu las bdud rst'i rgyan 'bab bo || zhabs kyi sor mo bcu las kyang lha'i bdud rst'i chu 'bab bo || ba spu'i bu ga thams cad nas kyang bdud rst'i chu babs nas thams cad tshim par byas so || sprul pa la la ni dud 'gro'i gnas su song nas de rnam kyi rna ba'i khung bur song ste | sangs rgyas la phyag 'tshal lo || chos la phyag 'tshal lo || dge 'dun la phyag 'tshal lo || 'phags pa spyen ras gzigs dbang phyug la phyag 'tshal lo zhes sgra bsgrags pas tshe 'phos nas dud 'gro de dag thams cad lha dang mi'i nang du skyes so || de ka sogs pa yon tan mang du gsung so ||*

- 43) *Mañi bka' 'bum* (D, e, fol. 65b1-6): *mtshan brgya rtsa brgyad pa'i mdo las gsungs pa ni | bcom ldan 'das ri bo po ta la'i rste mo na | me tog dri zhim po sna tshogs kyis brgyan pa | 'dzam bu gser gyi kha dog 'dra ba | rin po che sna tshogs kun tu 'bar ba' i sa phyogs na bzhugs te | 'khor mang pos kun tu bltas te chos ston to || de nas bcom ldan 'das kyis bka' stsal pa | rigs kyi bu'am rigs kyi bu mo gang zhid gis | 'phags pa spyen ras gzigs dbang phyug yid la byas te | om ma ni padme hūm zhes bzlas brjod byas na ngan song du mi skye | mnar med par mi 'gro | su zhid nang par langs nas bzlas brjod byed na | de'i lus la mdze dang | shu ba dang | g.yan pa dang | 'bras dang | bas ldag dang | glon pa dang | dbugs mi bde ba dang | nad thams cad las thar bar 'gyur | skyes so cog tu skye ba dran par 'gyur | lha'i sras po dang 'dra bar 'gyur | 'chi ba'i tsho bde ba can du skye bar 'gyur | gar skyes gar gnas kyang 'phags pa spyen ras gzigs dbang phyug dang mi 'bral bar 'gyur | rtag tu bzlas brjod du bgyid na yid gzhungs par 'gyur ro || dbyangs snyan par 'gyur ro || gtsug lag thams cad la mkhas par 'gyur ro || bstod pa 'dir bstod na | sangs rgyas bcom ldan 'das gang gā'i klung drug cu gnyis kyi bye ma snyed dag la mchod pa byas par 'gyur ro zhes pa la sogs pa'i yon tan mang po gsungs so ||*; Cf. T, 20, 1054, p. 69b8-9; T, 20, 1054, p. 69b20; T, 20,1054, p. 70b21-28; P. 381.

- 44) *Mañi bka' 'bum* (D, e, fol. 65b6-66b2): *mtshan rabs yongs su bstan pa'i mdo las gsungs pa ni | de nas tshong dpon gyi bu nor bzang kyis khye'u dpal gyi blo gros dang | bu*

*mo dpal gyi 'byung gnas la chos mnyan nas | de gnyis kyi lung bstan pa | rigs kyi bu khyod song la 'di nas phyin pa na | grong khyer byams pa'i gling zhes bya ba yod de | de na khyim bdag nan khugs bya ba yod | des khyod la chos ston par 'gyur gvis zhes lung bstan no || de nas tshong dpon gyi bu nor bzangs kyis der phyin te chos gsan nas lung bstan pa | rigs kyi bu 'di nas phyin pa na ri bo gru 'dzin bya ba yod | de na 'phags pa spyen ras gzigs dbang phyug bya ba yod | des khyod la byang chub sems dpai bslab pa ji ltar slob pa'i gdams pa ston par 'gyur ro zhes lung bstan no || de nas tshong dpon gyi bu nor bzangs kyis ri bo gru 'dzin du phyin pa dang | 'phags pa spyen ras gzigs dbang phyug gis 'khor mang po la chos ston pa mthong bar gyur to || de nas phyag dang bskor ba byas nas phyogs gcig tu 'dug go || de nas byang chub sems dpā'phags pa spyen ras gzigs dbang phyug gis | tshong dpon gyi bu nor bzangs kyi phyag nas 'jus nas | rigs kyi bu 'dir shog cig gsungs nas 'di skad ces gsungs so || nga ni thugs rje chen pos 'gro ba thams cad dbang du sdud cing sdug bsngal las skyob pa yin | ngā'i ming dran par gyur na pha rol pos mda' 'phangs par gyur kyang zug par mi 'gur | mtshon rnon pos btab kyang de la zug par mi 'gyur | grags pa che zhing rigs rgyud 'phel bar 'gyur | zas nor gyis mi phongs shing longs spyod rgyas par 'gyur | ngā' i ming dran pa de ni sus kyang mi thub par 'gyur | 'brog dgon pa'am nags khrod du song yang seng ge dang | stag dang | gzig dang | dom dang | dred dang | g.yag rgod dang | sbrul gdug pas mi g.yeng | ngā'i ming dran pa tsam gyis de dag 'bros par 'gyur | me dpung 'bar ba'i nang du shor na yang ngā'i ming dran pas pad mas gang ba'i rdzing bur 'gyur | ngā'i mtshan thos pa tsam gyis chur mi 'bying | chus mi 'khyer | mes mi 'tshig | gang zhig ngā'i ming dran par byed pa de thar pa thob par 'gyur | mthong ba tsam gyis gzhan dag mos par 'gyur | dgras zil gyis mi non | dug gis mi tshugs | ngā'i ming thos nas dran par byed na | de dag lha dang | klu dang | gnod sbyin dang | grul bum dang | srin po dang | sha za rnams kyis mdangs 'phrog par mi nus | pha rol gyi sngags kyis tshugs par mi 'gyur ro zhes pa la sogs pa mtshan rabs yongs su bstan pa'i mdo las gsungs so || Cf. T, 10, 279, p. 366c3-24.*

- 45) Sa skya Paṇḍita, *sDom gsum rab dbye* (Rhoton 2002:309, 第282偈 : *lugs 'di legs par shes gyur na | a ti yo gā'i lta ba yang | ye shes yin gyi theg pa min |*).
- 46) *Saddharmapuṇḍarikasūtr.* 7.106 (VAIDYA 1960c: 127.13-16; DUTT 1953: 132.15-16): *ubāyakaśalya vināyakanām yad yāna deśenti trayo maharṣi | ekaṃ hi yānaṃ na dvitīyam asti viśrāmaṇārthaṃ tu dviyāna deśitā ||*; Tib. (Q, fol. 86a7-8; D, fol. 75a2-3; p. 738.2-3; S, fol. 109b7-110a1, p. 218.7-219.1): *drang srong chen pos theg pa gsum bstan pa || rnam 'dren rnams kyi thabs mkhas pa ste | theg pa gcig ste gnyis su yod ma yin || bsti ba'i don du theg pa gnyis bstan to ||*; T, vol. 9, n. 262, p. 27b1-2.
- 47) dGe-rtse Mahāpaṇḍita, *sNga 'gyur la rtsod spong* (A, fols. 19b6-20a6, pp. 146.6-147.6;

E, pp. 72.6-74.4): *gnyis pa skyon de spong ba la | spyir theg pa dgu'i grangs la klan ka mi 'jug pa dang | bye brag a nu a ti gnyis theg pa dang rgyud sde'i rim par 'thad pa sgrub pa'o || dang po ni | chos kyi rjes theg pa gsum yongs su grags pa'i dbang du mdzad pa yin la | rnying ma rang lugs su theg rim dgu'i rnam gzhag mdzad pa la don gyis rtsod med de | bde bar gshegs pas gdul bya so so'i blo dang 'tshams par theg pa'i rim pa ji snyed cig gi rnam gzhag mdzad nas re zhid de dang des 'dul ba'i gdul bya drang ba'i thabs su bstan yang mthar thugs sangs rgyas thams cad kyi bgrod pa gcig pa'i theg pa mchog la dkri ba'i ngal stegs tsam du dgongs pa ste | lam stegs kyi theg pa de rnam kyis rang rang dang rjes mthun gyi 'bras bu re thob tu zin kyang | da dung gong nas gong du bgrod bya'i lam dang 'bras bu yod pa'i phyir dam pa'i chos padma dkar po las | drang srong rnam kyis theg pa gsum pa bstan pa || rnam 'dren rnam kyis thabs la mkhas pa ste || theg pa gcig ste gnyis su yod ma yin || bkri ba'i don du theg pa gsum bstan to || zhes gsungs pa'i phyir ro || des na theg pa chen po ni gcig nyid de gang du gnyis sam gsum du gsungs pa ni gnas skabs su ngal gso ba'i don tsam las theg pa dngos ma yin par bstan pa dang | theg chen gcig po de la'ang rgyu dang 'bras bu'i theg pa gnyis su dbye ba'i skabs 'bras bu'i theg pa bla na med pa de nyid ma rtogs na nyan rang byang sems kri yoga gi theg pa so sos rang sa'i mi mthun phyogs 'khor ba dang mtha' gnyis las nges par 'byung ba'i 'bras bu re thob kyang | bla na med pa'i theg pa gcig gang yin pa der gdod 'jug dgos te thob bya'i mthar thug rdzogs pa'i sangs rgyas kyi go 'phang de nyid lam bden mthar thug theg pa mchog nyid las 'byung dgos pa yin na der ma zhugs pas 'bras bu'i mthar thug pa thob par mi nus pa'i phyir |*

- 48) *Lañkāvatārasūtr.* 10.457 (Nanjio 1923: 322.13): *devayānaṃ brahmayānaṃ śrāvakiyaṃ tathāiva ca | tathāgataṃ ca pratyekaṃ yānāny etān vadāmy aham ||*
- 49) *Mañjuśrīnāmasaṃgīti* (Wayman 1985: 104): *nānāyānanayopāya (ḥ) jagadarthavi-bhāvakaḥ | yānatritayaniryāta ekayānaphale sthitaḥ ||*
- 50) *Pañcakrama* 1.2 (Tripathi 2001:33.8): *utpattikramasaṃsthānāṃ niṣpannakramakā-ḍikṣaṇām | upāyaścaīṣa sambuddhaiḥ sopānam iva nirmitaḥ ||*
- 51) 引用された偈は『楞伽経』には見出されないが、Sukhavajra (bDe ba'i rdo rje) の *Mūlaprakṛtisthabhāvanā* (D, 2294, fol. 211a1) に見出される。
- 52) 原典不明。
- 53) dGe rtse Mahāpaṇḍita, *rNying rgyud dkar chag* (gTing skyes, *śrī*, fols. 39b6-41a4, p. 78.6-81.4; sDe dge, fols. 23b2-24a5, pp. 46.2-47.5) *gal te theg pa gsum las grangs gzhan nges par 'gog pa yin na | lang kar gshges pa las | lha yi theg dang tshangs pa'i theg || nyan thos kyi dang de bzhindu || de bzhin gshegs dang rang rgyal gyi || theg pa de dag ngas bshad do || zhes theg pa lngar gsungs pa dang | 'jam dpal sgyu dra las | theg pa snga tshogs thabs tshul gyis || 'gro ba'i don la brtson pa po || theg pa*



チベットにおける『法華経』の用法：観音信仰と一乗思想（横殿）

*gsum gyi nges 'byung gis || theg pa gcig gi 'bras bur gnas || zhes gsungs pa'i theg pa  
gcig 'di gang la ngos 'dzin | nyan rang 'khor ba las nges par 'byung ba gang zhig  
gdod theg chen gyi bsam sbyor rgyud la skyes nas rnam mkhyen sgrub pa la bsams  
na mi rung ste | theg pa gsum gyi nges 'byung zhes bshad pa'i phyir dang | byang  
chub sems dpa' mtha' gnyis las nges par 'byung bas rgyu'i theg chen rang lam gyis  
sangs rgyas 'phags pa'i go 'phang mgon du byed pa la bsams nas theg pa gsum gyi  
rjes su theg pa gcig bkar nas gsungs pa la don gyis dben par 'gyur te | 'dir gang  
bzhas ce na | gnas skabs su theg du ma'i rnam gzhas mdzad pa'ang de dang de'i  
gnas skabs dang tso che chung gi dbang gis gdul bya drang ba'i thabs su bstan nas  
de rnams rang rang gi lam gyi 'bras bu rjes mthun re thob tu zin kyang da dung  
de'i gong du sangs rgyas thams cad kyis gang du bgrod pa gcig pa'i lam rdo rje'i  
theg pa mchog bstan du yod pa la dgongs pa ste gzhan rnams de nyid la dkri ba'i  
lam stegs tsam du bstan cing rdzoga pa'i byang chub kyis bar du bgrod bya'i lam  
rnams skas kyis gdang bu ltar gnas shing | klu sgrub kyis | thabs 'di rdzogs pa'i  
sangs rgyas kyis || skas kyis gdang bu lta bur bstan | zhes dang | mdo padma dkar po  
las | drang srong rnams kyis theg pa gsum bstan pa || rnam 'dren rnams kyis thabs la  
mkhas pa ste || theg pa gcig las gnyis su yod ma yin || bkri ba'i [bsti gTing skye]  
don du theg pa gsum bstan no || zhes dang || lang gshegs las | srid pa'i lam gyis dub  
pa rnams || ngal bso'i don de de nyid min || zhes bshad pa bzhin no || gzhan yang  
theg pa gsum kho nar bzhas pas ma khyab ste | dkon mchog brtsegs par | 'od srung  
theg pa ni gnyis te chung ngu dang || chen po'o || zhes sogs gsungs pa'i phyir dang |  
de bas na rang lugs 'dir nyan rang byang sems sngags kyis theg pa ste bzhas grangs  
nges pa'i phyi ma la rgyud sde 'og ma gsum dang | bla med la bskyed rdzogs gsum  
du dbye bar mdzad nas de theg pa'i rim par bzhas pa la 'gal bar du ba'i cha shas  
tsam yang gnas pa'i skabs med de | sangs rgyas kyis sas [kyis sa] bsod pa'i chos  
thams cad la spyir theg pa gcig gi sgra sbyar ba'am bye brag ji snyed pa la theg pa  
so so'i sgra sbyar kyang rung ste thams cad mkhyen pa'i bar du bgrod byed kyis lam  
yin pas so ||.*